

特33

800

長瀬寛二編輯  
小學讀本字解  
上



長瀬寛二編輯

文部  
省御  
編纂

# 小學讀本字解

明治十六年  
第二月新刻

成美堂藏版

特33  
800

## 小學讀本字解

### 例言

- 一 此書ハ文部省御藏版明治七年五月御改正ノ  
小學讀本中ヨリ動植物ノ名稱及ビ熟字成語
- ニ至ルマデ悉ク採摘シ之ニ傍訓略解ヲ施シ  
分チテ二冊トス

一 枚載ノ例ハ本書ノ順序ニ從フ

一 四五ノ卷ニ至リテハ本邦古雅ノ辭多クシテ

小學讀本字解

例言

成美堂藏版



特33  
800

東周館

長瀬寛二編輯

文部  
省御  
編纂

# 小學讀本字解

明治十六年  
二月新刻

成美堂藏版

## 小學讀本字解

### 例言

- 一 此書ハ文部省御藏版明治七年五月御改正ノ
- 小學讀本中ヨリ動植物ノ名稱及ビ熟字成語
- ニ至ルマデ悉ク採摘シ之ニ傍訓略解ヲ施シ
- 分チテ二冊トス
- 一 枚載ル例ハ本書ノ順序ニ從フ
- 一 四五ノ卷ニ至リテハ本邦古雅ノ辭多クシテ

小學讀本字解

例言

成美堂藏版



獨り幼童ノ解シ難キノミナラズ大人モ間々  
 艱ム所アリ故ニ今古書ニ徴シ或ハ國學先生  
 二問ヒ以テ諺解ヲ附スト雖固ヨリ余ノ謬劣  
 ナルヲ以テ誤見謬聞ナキ能ハズ者者其非ヲ  
 是正セバ幸甚

明治十五年十二月 編者識

讀本字解卷之一

長瀬寛二編

第一住所ジウレヨスムト 總名ソウミヤウスベテ柱梁桁椽ハシラウツリノケタダ○尾膏板膏カヲラフキツクダグキ

草菁クサヅキカヤヅキ 明窓アカカド第二帛類ハシルキキヌノタモシロ紋紹モノシロモヤウノアモシロ羅ラ

借字カリジ按スルニロトハ通音ハ故ニ借リ用ヒタルナラハ羅ハウスキ又 第三白田ハクダの二字ニ按スルニハ白田ハクダ

名ナヲ省シキタル 畦ウサ○穀菜コクサイヤサイ 鋤馬ウマ杷カ○培ツカふツチチラヤヤホシ干ホシ

鱒カ鱒カノ油アブラ粕カス肥コ第四蕃薇ハナ○刺ハリニアリ 香氣カウキニホ

夥オビクシタクサナル 長春チヤウシュン一種一種一名一名四時シ春夏秋冬即春夏秋冬即單辨タンベンヘト

長瀬寛二編 卷之一 長瀬寛二編



難波ばら 花葉共ニ大ナリ、枝長ク刺多シ 重辨へ牡丹ばら 花大ニシテ四五

第五 晨ケ冠距 ○ 鷄雞矮雞烏骨雞 ○ 卵食用クモ

滋養の功 ツカマヘ 第六 螢 ○ 四翼 ハネ 捕へ

第七 二十日草 此花凡ソ二十日ア 芍藥 ○ 賞ル根皮

第八 絲瓜 ○ 老たる タルコト 剥きコト子 を去テ

第九 紅花 ○ 薊橙黄色 ○ 摘乾 ホシカハ 燕脂末

摘花 花ノ末ヲ摘取ルヨリ名クト云フ ○ 初開ノ黄花ナルハ摘ムベカ

庖刀小刀鑿鎌 ○ 青磁白磁礪 ○ 刀劍ツルギ 剃

刀 ○ 名倉砥 參州名倉ノ産ラ 鳴瀧砥 山城鳴瀧ノ産ラ 第十一

鱈 ○ 鰻鱺鱗鬚 ○ 舊く ムカシ 土長 土中ニ生長スルノ義カ 第十二

地球儀 ○ 模 カタク 亞細亞歐羅巴南北亞米利加

亞弗利加 ○ 五大洲 五ノ大ナサメ 斜 カヒ 運轉ル 第十三 軸

卷物掛物心 即軸 象牙 第十四 林檎 ○ 五辨 イツハナ

海棠 ○ 近來 チカカ 舶來 ハクライ の種 外國ヨリワタ 殊 ベツダ 第十

五塗物 ○ 我國産の最 ワガ日本ノ国デ 蠟色溜塗搔合

目 トナ 朱塗青漆顏料 エノクワ 和 マゼ 第十六 塔塙 ○



鎔に烈火ビツヨソシモワ  
損じ毀れにレモセス、  
第十七 四招鳥ノ

誘ひ捕る○繩を著け籠○側小ニツバ網○繭柴○

設置きコシラヘ  
第十八 綿○蠶の繭○真綿紡てヒイ

紬○木綿の實芳禮第十九 窯燻べ焼○屋上

雨露ツユ禦ぐトメテモラヌ筒尾平瓦第二十 蒲○穗蒲

一畷○四隅沈め第廿二 端物○寸尺布帛モメン

第廿三 橙橘袖○苦く経水バレコユ黄赤色變ドル

再録小復る第廿四 煉化石○久き小耐ヘナガクコ

火災ノ一防ぐ第廿五 杉○材木伐る。杉取杉人第

廿六 造作○家宅建築イヘヤレキヲ。室中 居間ノ床の間。

戸棚敷居鴨柄戸障子格子建具第廿七 案○写

以臺原第廿八 頭巾○縫頭小被るカブル僧尼ツケ

第廿九年 號名 孝徳天皇 三十七代 己大化紀元

支那俗ニカラカシ武帝 西漢五代 建元号 第三十 苗代

第卅一 紀伊筑前産モノ 第卅二 槿○葵萎むル

三浦藩版

三浦藩版



挿也。活くツク籬カキ第廿三ウス白ウス○精ツク々ウス踏フミて。  
自米ニスルヲ踏フミて。

眷ツクく確カラス粉コ碾ヒキ磨ウズ第廿四ウス蘭ウス○草履カサ笠カサを編アむ俗ニア三

莞オホキ第廿五ウス海苔ウス○海菜ウス紫菜ウス名品ウス品ウス武藏ウス

品川ウス第廿六ウス大砲ウス發明ウス漸ウスく精ウス熟ウス

銅ウス野戰ウス砲ウス攻城ウス砲ウス守城ウス砲ウス海岸ウス

砲ウス置ウスク大砲ウス船砲ウス軍艦ウス三用ウス第廿七ウス牛車ウス馬車ウス蒸氣ウス車ウス

輾ウス輪ウス縁ウス輻ウス又ハハウス心ウスを貫ウスくウス第廿八ウス菜ウス

黄ウス○實ウス木ウス半夏ウス葉裏ウス第廿九ウス磁器ウス○尾張ウス瀬戸ウス

特コト小名ナありカクベツニ、ミラツチスリ 藍アキイ色ソメツケ添ツケ付ケ第四

十アキ時キ畫エ○我ワ邦ケ本ニ名メ産サン他タ國クニ漆ウツク描エガきキ金キ銀ギン

粉コ高タカ時マキ畫エ磨トギ出ダ漆ウツク塗マりキ其ソノ上ウヘ磨マキ

第四十一 罌ケ粟レ○辨ハ重チヨウ葉ウヅ千セ葉エウ第四十二

下ゲ駄ダ○桐キ齒ハ擗キ楮ハ鼻ハ緒ナ足ア駄ダ俗ウスニボクリ深靴ツク俗ウスニナガグ

第四十三 專モウ横コウ笛フエ笙シヤウ筆ヒチ葉キ概ガイ七シ孔コウ雅ガク樂ガク散サン樂ガク俗ウスニサルカクト云今イマノ能是ナリ俗ウス曲キョク三サ味ミ

雅ガク樂ガク正テイ樂ガクナリ散樂ガクハ正樂ガクニアラザルノ義ナリ俗ウス曲キョク三サ味ミ

第四十四 架カ蔓マン延エンハハ一イツむム淡タン紫シ色シヨク俗ウスニムラ

ルウカレノキヨク久ク第四十四 架カ蔓マン延エンハハ一イツむム淡タン紫シ色シヨク俗ウスニムラ



始終シヨウジュウシマイマデシマイマデ綠色リョクシキイロイロ生貯ナマヅケ第ダイ四シ五ゴ六ロク絃ゲンムスチノヤマトムスチノヤマト和ワ

琴コト東トウ琴シン樂ガク器キ音オン樂ガクニ用ニヨウウウ箏ソウ瑟セツ須ス磨マ琴コト八ヤク雲クモ琴コト第ダイ四シ第ダイ二ニ

六ロク胡ゴ麻マ○榨シホ子シ煤アげア第ダイ四シ第ダイ七シチ荏エ○紫シ蘇ソ紙カミ合カ紙ツ煎セン

煉レン十ジュウ分フンニ煮ニシ油アブラ繪エ第ダイ四シ第ダイ八ハチ券ケン○事ジ物ブツゴトモノ證シヨウ據コシレルモシレ文モン書ショ

カキカキ地チ券ケンガタガタ本ホン人ニンニ保ニホ人ニンウケウケ證シヨウ券ケン印イン紙シ貼テルルハリハリツケツケ後ゴ

證シヨウコニチノシコニチノシ第ダイ四シ第ダイ九ク傳デン信シン機キ○鐵テツ線センリガネリガネ機キククリリ一イツ瞬シユン

ヒトマヒトマ信シン音オン信シン西セイ曆レキ西洋セイヨウノノ英エイ人ジンスノ人スノヒト第ダイ五ゴ第ダイ十ジュウ飯ハンシメシメ黍モトモ

一イツ穗スイホホ梁リョウ粘ネ林リン餅ヘイ第ダイ五ゴ第ダイ十一ジュウイチ珊サン瑚ゴ○截キリ研トぎギ烟タバコ草コ入イレ

四

巾キン著シヤク緒キョ箒シ箒シ飾シヤク第ダイ五ゴ第ダイ十二ジュウニ果クワ紅ベニ自ジ裂レキ破レキ第ダイ五ゴ第ダイ十三ジュウサン

鬚シヤク尖ケンリリ狡カウ猾クワワワルルガガシシ第ダイ五ゴ第ダイ十四ジュウシ銀ギン杏シヤク○一イツ葉エフイイテテフトフトヨムヨムベベ

テニテニトトナリナリ雌メ雄オス核カクタタネネ第ダイ五ゴ第ダイ十五ジュウゴ浴ユク衣イ○浴ユクユユアア拭シクク裁サイ

製セイテテルル單タン衣イ第ダイ五ゴ第ダイ十六ジュウロク面メン○舞マシ樂ガクレレテテママフフナナリリ奏ソウススメメ○樂ガク器キ

テ舞マシヲヲママフフ能ノをヲ舞マシふフ面オホ小コ覆フふフカカホホニニ木キ刻キのノ假カ面メンテテキキ

ガミガミシシレレカカミミヤヤウウモモクク第ダイ五ゴ第ダイ十七ジュウシチ湊ミナト標ヒシ○洲ス示シさんサンシシララフフ標ヒシキキ

第ダイ五ゴ第ダイ十八ジュウハチ潮ウシ砂サ澆シヤウきキカカケケ再シ濾ロ鹹ケン味ミキキアアチチ資シ水スイココレレヨヨリリトトリリ

花ハナ鹽シホ模モ播ハ磨マ赤アカ穗ホ名ナ産サン第ダイ五ゴ第ダイ十九ジュウク磁ジ石シヤク○性セイモモチチ磨マシ

小學讀本 卷之二 三浦藩



尖第六十 槐 ○細かく第六十一 淡褐喜て綿羊俗ニ

ヤメン 山羊 毛ハ毛種ニ織ルベシ 並モ剪て第六十二 天鷲

絨 ○銅線ガネ織成アゲ切斷て花文ハナモ 條第六十三

木綿 ○收トリイ 即ホサズ、紡車イトグ 縫リ ○拵リ。

油を得アブル 第六十四 鶴領 ○胸黒庭第六十五 錢 ○

小錢 發行ラヘダシ 銅貨 アカミネ 第六十六 炭 ○積

塞き焚成せる ヤキテコシ ラヘル、櫛櫛第六十七 芋莖 ○紫芋

アカクキ イモ 莖 ○乾貯 タハフ

第一 綾文紗綾形 ○綸子滑く光リヤツ 第二 粘粳

糯早稻中稻晚稻蒔實る相反以ウラガ 第三 棲む。

短く上層缺てナリ 第四 糠蝦 第五 野慈姑 ○瘠

小ヤセテ、チ 澤瀉 ○假用イフ、車前草 第六 錫礦山

アラガネノ 鉛銅銻石 俗ニシチ 響銅製煉ベネル 第七 菌

○松茸初茸占治四時 秋冬 榎茸椎茸尋常 ナミ

菌茸 ○動スルト 害 ナフコト 河豚 猛烈ノ麻酔 毒アル魚、 踰 第八

櫛 ○挿屯上古 神代ヲカス 象牙 瑇瑁蒔畫 專イナ梳

小學書本字解 卷之二十一 三十一 頁 戌 又



唐櫛梳櫛齒疏櫛ノハクア解櫛トキグシ第九獸ケウ○全ゼン

動物ドウブツ豚狸猴イノブタノサル第十饅コト○鍛糊貼炙キタノリハリ皴燒スリヤキ

名花ナダカ歌小詠ウタニ繪小畫エガ○

彼岸櫻ヒカンザクラ樺櫻カハザクラ大提燈オホヂン虎尾熊トラノヲ鷲尾シウノ緋櫻ヒザクラ淺黃櫻アサキザクラ

第十二牝牡メオス班イロ手雜テマゼ第十三磨スる海岡ウミノカ雨島アメノシマ甲州ケツ

高嶋タカシマ地名チマ赤間アカマ地名チマ尾硯木硯オノシタキ第十四蛻ゼイ又マタグナツ夏ナツ

蟬ゼミ馬蟬ウマゼミ黑色クロニシト大ナリオホナリ寒蟬サムシ又マタミンクセミト云ス聲コエ二因リテ名久色青シニインリテナキウシロ蜻蟬セミ寒蟬サムシ

小ナリ其羽黒キコナリミツク季キアキノアキノ蛸ツツ螻ロウ聲コエニ因テ名久形ニインテナキウケイ千畧チヤク圓エンクシクシ茅チガ

蛸ツツ山ニ多ク村里ニ少ク其聲寂寥多クヤマニオホクムラニオホクミコエサマシク第十五原算木ハラサンギ算木サンギ

中ニ一ナカニヒト顆カクツグツグ世俗セヨクヨノナヨノナ十露盤ジュロバン第十六低ヒクく歩フ故コ

段町界ダンマチカイ畔ハタ往來ウライニキニキ第十七粽チマキ○團子ダンゴ茅葉チガハ菰包モツツ

箬ササ第十八水柱ミヅハしら○軒岩上ノキノガニシウヘウヘ滴水シタ水ミヅ氷ヒ垂タル

第十九手毬テマキ○蹴鞠ケマキ春ハルぎギ絲イト不フて纏マぎギ飾カゼ第二十

蜻蛉トビ○水ミヅ蕩ウツク羽ウ化カハネハネヲヲ生シ蜻トビ蜓トビ胡コ藜シ赤アカ卒ソツ紺コン糝セン又マタカ

尚ナホダマダマ第二十七草クサ○二ニ様ヤムフタトフタト菜ナ菘ス蘿ラ蔔ハク

大オホヨシヨシ芹セリ薺ナギ御ミ行ユク俗ソクニニハハヨヨクク升シヨウ繁ハコ縷メ佛ブツの座ザ○菽シヤク尾ビ花ハ

佛の座  
説ニ卷  
ラゴナ



稱ナリ 俗 葛花クサハハ撫子ナシ女郎ウツクシ花蘭ハナラン又アラ、ギ 朝顔アサガハ第二十二

蒜ニシキ○菜名サイメイノ十 香臭ニホヒクサ野蒜ノニシキ葱ニシキ韭ニシキ薤ニシキ五辛イツノ 第二十三

三布ス麻カラムシ苧麻アサ亞麻スマ葛クサ芭蕉布バセラフ第二十四 黑班クロ黄赤班キアラキ

眼睛ガンニヒト 第二十五 鋸ノコギリ○又鑢ヤス大鋸オホノコギリ第二十六 秤ハカリ○輕重ケイヂウ

カルサ 竿サハ衡カウハカリ 鎮分チンブン銅星ドウセイ量リヤウ第二十七 樋ヒ通堤ツツミ小埋コウメ

め 堤ツツミノ下シタ藏クラ一ヒト 洩シユらヒ 開合カクカフタテアケ開ヒラ 第二十八 囊フクロ○

風呂敷フクロシキ持運モチヌ 第二十九 竈カマド○飲食インシヨククヒモノ 煮銅壺ニルドウカ 第三十

帆ホ○承行ウケヤるホシラ 播索ホソクを著ツケて 第三十一 升マス○多少タセウオホキ

七

斗ト升マス一斗ヒト升シウ 斛コク 第三十二 箕シ○塵チリニ楮皮コノヒノ皮カミ 割經緯サキタテヨコ

轉マ一ヒト 糠唐箕ヌカカウシ 第三十三 席シヤク○編ア蘭ラン席シヤク蒲席ハハシ簾レン薄ウスく剥ハ

き 第三十四 眼鏡メカシ○望遠鏡バウエンキヤウトホメ 顯微鏡ケンビキヤウムシメ

水晶スイセイ硝子シヤウシヤウス 第三十五 尺シヤク○長短チヤウタンナガミハカシツモ 度タクル 曲尺カクシヤク 鯨クジラ

尺シヤク異服尺イフクシヤク 第三十六 薯蕷ショウジュ○太フトく肥長芋ヒナガシ自生セイセイヒトリ

瘦ヤセ自然薯シヤク枝間エダマツルノハミ 子零餘子コシロヨ 第三十七 巨指キョウシ食指シヤク

中指チュウシ無名指ムメイシ俗ソコニクスリユ 將指カシラシ親指オヤユビ紅差指ベニサシユビ 第三十八

斧ノ鉞ツル工匠コウテイクク 樵シヤウ人ヒト 第三十九 落鴈ラクガン○干果カンクオ子コ炒粉シヤウフン 米コメ

八景讀本字解 卷之一 三浦藩邸



炒リテヒ

模カダ 圖中ニ見ユ

第四十

青碧セイヒキ 衣紋イモン

龍膽唐

草クサ

第四十一 竹林鳥

○ 鴛其背碧色

竹林鳥ノセナカハルリイロ 琉璃

第四十二

連木 插木

土俗メダ

盆播

捧藥粉

陶

器キ

乳捧

第四十三 櫓

○ 揺

扁く 楫

第四十四 蕨

嫩芽

淪て

土地ニヨリユブキウダ

碎

第四十五 猛

牙尖

怒觸

眠際

畏

聚

廬

卧 卧猪の床

第四十六

莢白豌豆

第四十七

提桶擔桶

籬材

板

卷て 俗ニマケモ

讀本字解卷之一畢

讀本字解卷之二

第一

太陽日輪

大陰月輪

○ 惑星

常ニ其位置ヲ定ムス光リヲ大陽ニ受ケル動キ惑星

遊星

水星金星地球火星土星天王星海王星

八

按スルニ八星ノ中木

從ヒテ

繞ル

衛星

第二位置

亂

亂水

顯

象小喻

○ 名

設ク

一

簇

象小喻

○ 名

後人

○ 支

球

四十八像

後人

○ 支

那

俗ニカ座

宿

第二十二宮

○ 總天

ソウタイ

接スルニ天  
王ニハトア  
ルハ恐ク  
大ノ誤ラ  
天ハ固ヨ  
リ固キ者  
ニハ非ザ  
レバ學ヲ  
便ナルガ  
爲ニ假  
ニ圓キ者  
ト定ム故  
ニ天球ト  
云フナリ

小學讀本字解

卷之二

三浦藩邸



天球ヲシテ多クマグル幅十六度〇帶ヲス 纏度メグリノ白羊

宮ノ形白キ 羊ノ如ク 金牛宮 金ノ牛ノ如ク 雙女宮 二人ノ女ガ如ク 巨蟹宮 大ナ

獅子宮 獅子ノ形ノ如ク 室女宮 ムスメノ如ク 天秤宮 天秤ノ如ク 天羯

宮 按スルニ羯ハ蝎ノ字ノ誤ナラン 磨蝎 按スルニ蝎ハ羯ノ字ノ誤ナラン 磨蝎

人馬宮 人ノ馬ニ乗りタル如ク 磨蝎宮 磨蝎ノ如ク 雙

魚宮 二魚相雙ビタルガ如ク 簇氷る 第四引カルクカラ 旋

轉 二十四時 即一晝一轉 三百六十五日 六時 即一周

其上周 地球ノ高低 甚異 較

第五陸地 岡峰

第六原空

第七鹹水

第八洲泥

第九

第十

第十一

第十二

第十三

第十四

第十五



土ドロ 淤ヨド ヲガレ 沿濱海岸ソベ キウミ 屈曲カマ マガル 廻浦マ

属ツク 及るツイ テ 尚ナ ダマ 第九ク 流水リシ ナガレ 曲入カク マカリ 入江イ

静淀洲シヨ 瀨水セ 際サヘ ギハ 汀ツツ ナギサト 際サヘ 岸沿通キ トト

テ 呼ヨ フイ 第十ク 泉イ 涌出温温泉ユ 尋常ジ ツネム 俗

意 大概オ ホ 磐石イ 明礬メイ 硫黄リウ 極熱キョク アツシ 沸騰フ

ワキア 越中エ 立山リ 殊小ニ 第十一ク 湖ウミ 淡ア ケチ

キ 拘カ 止ト 停ト 止ト 泥水ドロ 澤サ 雜シ 第十二ク 堀ホ

リ 穿ウ チ 溝ミ 塹ツ 遏ト ムルメ 築キ ツキ 堤ツ 鑿テ

橋ハシ 鏡ニ テ 造ツク 瀑タケ 龍リウ 古コ 激流キョク 稱ナ 慣ク 第十

三頭上サン 頂テイ 跳動テウ 頤イ 俗ソク 際サヘ 額ガク 頰キョウ

○ 開合カイ 頤イ 瞼メ 内眥ナイ 眥シ 第十四ク 垂ツ 耳ミミ

埴ウ 唇ク 吻ク 頤イ 齶コ 口ク 中指ナ 指サ 名ナ 兩傍リウ

牙キ ○ 排ハ らふ ○ 齒シ 齶コ 第十五ク 胸ムネ ○ 兩乳リウ 裡ウラ ○

膈カク 胸内ムネ ニレテ 心肺シン 係ケ れる 肩カ 腕ウデ ○ 連骨レン 肋リブ

胸骨ムナ 鳩尾トビ 膈下カク 小腹コ 第十六ク 掌テ 腕ウデ ○ 腕ウデ

又マタ ウテ 肱コウ ○ 中節肘チュウ 身ミ に 著ツ ける 腿膝ヒ

トイフ 腿膝ヒ ○ 身ミ に 著ツ ける 腿膝ヒ



高骨内踏踏踵タカボネノウチノフミフミ○り、多ク東京ニテ唱フル俗言ナリ第十七親

類ルキ三ウチ。系脈相續ケイマクサウジツ 眷屬ケンリョク 戚セキヲイフ 大凡オホニヒトオシナゴトウ 五等ゴトウ

親シン親屬ヲ分ワケ過スぎビ五等ヨリ外ハナイ從兄ジュウケイコ從弟コ從妹コ從妹コ從妹

從妹ジュウメイコ從妹コ從妹コ從妹 准ジュン以ニテ從兄ジュウケイ從弟ジュウテイ舅姨ケウイ母方ボウハツノ無服俗ソクニ云クブクノ外

舅ケウシウトシウトノ外姨妻メノ母壻ケイムスメノ第十八結構ケウコウラス

次第ジツテシ法則リ屋ノ脊セ横ヨコ棟ムネモイフ頁

ふル梁リヤウ○支サへオチヌ持チ出デルモチコ方木ナ科材カク材カク

兼カミく枅棟トウ第十九格天井カウテン薄板ウサカ排ハ○塵チを防ブ

ぐホコリ承塵上ニ施シテ擬らへニ壁○細サイ竹チク○割ワリ。

編ヒミ泥土石炭シツタン○木舞キマ第二十戸障子○関ア

關ケアケタテタリ溝戸障子ノ鴨カモ柄敷居カモノ鴨居カモノ關ケ訛マルガヒ引ヒキ

戸ド開ヒラき戸○硝子ガラス○貼ハ唐紙カウカミ○明アり障子第二十一

疊タミ藉シ一種ヒト物名モノ藁ワラを集め綴リワラヲヨセテ

表オトコノ席オニテオ著ツケ○佳ヨシ小コ鬚ヒゲ一ニ燈心草ト云ニ七チ

鳩トビ燈心草ニ似テ較カ太ク多ク薩摩シマノ琉球表リウキウ○鋪シ席シ蔭カゲ席シ蔭カゲ

席シ蔭カゲ席シ蔭カゲ○坐ガ席シスワルトキグワキ○御坐ゴザ第二十二

席シ蔭カゲ席シ蔭カゲ○坐ガ席シスワルトキグワキ○御坐ゴザ第二十二

席シ蔭カゲ席シ蔭カゲ○坐ガ席シスワルトキグワキ○御坐ゴザ第二十二

小學讀本字解 卷之二 三浦藩



匣コ○古來コヨリムカシ箱コ○葛籠クワ藤フ葛ゲサヌカヅラト云、櫃ツツ

長持ナガモチ韓櫃カンビツ引出ヒキダシ重オモシ○假借字カカリジ第二十三燈トモ覆フクヒ

燭ソク○豎タテ○點テバト原モト○提燈チチン○携ヒキへ手テニサゲ近チカ

古コ製セイ作サクへカカタ頗ホド弓ユミ張ハリリヲ以テ張テ腰コシ指サシ多オホク馬ウマ上ウヘニサス

小田原コダハラ麻アサ相州ソウシュウ小田原コダハラニマケ第二十四輪ニジユウリンを轉マシらス服ツツ

地車ヂクルマ第二十五轆轤リキ○釣瓶ツルビン○同形ドウケイ滑車セクルマ○省ハツ

操縱ソウジヨウスヘラ旋器センキ○牽鑽ケンズン○陶器タウキ

第二十六浮ウカベテ濟イサるル○洋中ヤウチュウ船フネ○漁獵イサリ

漁船イサフネ棹ササ上下ウヘノヘ高瀬タカセ平田ヒラタ茶船チヤフネ東京トウキョウニマケ

傳馬デンバ○泛ウカふス第二十七凡スベテ行ユクるル帆檣ホノボ竿ササ尖ササ

扁ヒラタ潤ヌルくス○丁字テイジ形ケイ攪カキきキ梶カキ○動ユクもス○古製コセイ

船フネノノ截キレ第二十八止トメ碇イカリ纜ヅナ○古製コセイ

水底スイソコ○泊トマルル洋製ヤウセイ倣ナラひヒ

第二十九鋤耕穿シノヒ用ヨウ小隨コズイひヒ

第二十九鋤耕穿シノヒ用ヨウ小隨コズイひヒ

第二十九鋤耕穿シノヒ用ヨウ小隨コズイひヒ

第二十九鋤耕穿シノヒ用ヨウ小隨コズイひヒ



斜挿 ○土を墾 上ヲ及ヘン田 犁 主ヲ發キ草根ヲ絶ツモノナリ 唐

鋤 ○其頭全ク 唐鋤ノアリ 樹根ヲ掘起 第三十 鬆馬

把把 熊手塵土 三落葉 除キヨケ 第三十一 刈稻

扱俗ニコバシ 打當テ 磴 中ハ泥土ニテ塗り、周囲ハ竹ヲ編ミテ製リ齒ハ多ク搗ヲ用ユ

或ハ之ヲ磨 磨 ○穀 穀ニ作ルハ恐 第三十二 臼杵 ○偶

アヒ 腰細き 手杵 柄ノナキ 立舩 立テタル舩トイフ

ナリ、綿ヲヨルツムニリウゴトイフ、 椎物ヲ打 直立の臼 俗ニク

トイフム 踏 ○碓水カ 三ツノ 假るル 舂き ○千石筵 疏糠

脱磅 第三十三 地機 下機 高機 上機 ○錦綾花機 機

関 等緯 経 箴 ○千切 經ヲ卷ク 招踏木 足ニテ踏ム

第三十四 繭を煮て ○緒クチ 繅玉 トルヲイフ 繅車 ○

合せ 繰る ○紡車 糸ヨリグルマ、 紡錘 土地ニヨリ或ハツサシ

○且捲く 繰リツマキ、 繅車 繅ハ糸ヲ等 第三十五 精好

鳥の子 其色淡黄鳥卵ニ似タリ、故 奉書 官家奉書ニ用ウ

小厚薄 雁皮紙 蕘花ノ木ヨリ製ス紙質滑 如者 一 オヨ

産 最 他國 亞 ぐツ 簡便 半紙 ○



冠シロ美濃紙ミノウ

美濃ヨリ出ルモノヲ  
最佳トス故ニ名ク

日向半切ヒナ

日向ヨリ出ス  
手紙ヲ書クニ

便ヒヤ駿河半紙スノガ

半紙ノ中ノ下品ナルモノ又希  
レニ半切トシテ用ルモノアリ

其產地ソノ紙シルルトコロ

呼ヨフルル第二十六圓ニ

マロキ  
カクキ

繪エくル規キ

方ハをマ度スるル

ツツモル矩ク法ホウ

キマ  
ヘイタヒ

平ヘララ準ス

直チググ繩ヅナ

具グググ錐ヅ

孔アナをス穿スつツ

三ミ目メ錐ヅ

二角ヲナス工匠  
毎ニ用テ釘ノ

穴アナヲス鑿シ

圓マキキ穴アナヲス明ミクルル器キナナ

鑿シ刻キ壺ツボ鑿シ

圓マヲス穿スツツ

以イ鑿シ柄カノス長ナササ

尺シニシ近シ鉋カキ

釘チリリ兩リ及ツ片ハ又ツノス二ニ種シアリ

鋸ノ竹タケ木キ等トナリ

鑿シ鋸ノ齒ノ利キシシ金ノヲス

工コウ匠シヤウ

必ヒツ須スヨウウウ

突ツキ錠カキ百ヒヤク

工コウ匠シヤウ

井イ比ヒニニ

單ダンにニかカんンなナとトのノふフ

カカンンナナトトババ遣シ

鉋カキ

内ウチ又マタ外ソト又マタ

桶ツツ匠シヤウ

兩リ及ツ片ハ又ツノス二ニ種シアリ

鉋カキ

佛ブツ工コウ

兩リ及ツ片ハ又ツノス二ニ種シアリ

大オホ鋸カキ

ルルヲス引ヒキ廻マヒ

長ナガササ七シ八ハチ寸スン濶ヒロササ五イ六ロク分ブンババカカ

第ダイ三サン七シチ漁イサ

魚イサヲス捕トルル

畧リヤク

網アミ釣ツリ引ヒキ網アミ地チ引ヒキ

舟フネニニ乘ノリリ沖ナカニニ出デテテ網アミヲス張テリリ後ノチハハシシアアミミ

端ハシノノハハ

シシ水ミヅ上ウヘニニ游ユベベテテ

著ツキ引ヒキ寄ヨセ

鎮チン子シ岩イハ鉄テツ或シ鉛シ

投ヒ鋼コウ

打ウチ網アミ投ヒげゲ

水ミヅ中ナカヘヘナナ

掩オサひヒセセ

四ヨ手テ網アミ

廣ヒロシ

第ダイ三サン十ジュウ八ハチ縷リウ

其ソノ鉤カケ

土ツチ地チニニヨヨリリウウ

ヲヲ捕トルル

細ホソ竹タケ

第ダイ三サン十ジュウ九ク膳テン

飲イン食シキククヒヒモモノノ

ハハ是コト也ナリ

第ダイ三サン十ジュウ九ク膳テン

飲イン食シキククヒヒモモノノ

轉テンドド



てカハリ 食器食物ヲ盛ルウハ 排○盤イ 蝶足足ノ形蝶ノ羽ノ如シ

折敷ハ 御食枱

猫足足ノ形猫ノ足ノ如シ 銀杏足足ノ形ツツノ如シ 折敷○飯糰汁椀

平平皿平皿 壺壺皿○皆朱 内朱ウチバカリ

宗和氏ヲ 金森

宗和昔宗和ト云フ人ハ茶道ヲ善シ好瑠璃ニ 第四十 喫む○中

古磁器モノ盛る 熨アツキモノ 容る○平戸伊万里

西京京都 清水粟田九谷萬古 精巧キレイニシテ

雅致フウガナル 瀨戸地名 尤ホカヨリス 且ウツノヒサ 久ナガ

終小トウ 第四十一 詩画○創製 我國日本 産

物デキル 他州外 文モヤ 平蔭画平ラカナル 高蔭

画高ク模様ノ淨キ 磨出幾度モ磨ギテハ塗りテ 其地

蔭画ノ 飾るツヤナシ 梨地刑部 金貝珠玉○嵌 諸物

の形草木鳥獸ナド 第四十二 婦女首飾 首飾アタマノ 櫛

笄簪○瑇瑁 印度海ニ多ク産ス其甲甚美 造花花ノカタチ

花簪○搔上 るカキア 佩刀腰ニオブ 副ケ 紫檀解來ノ

質堅クシテ其色 蚊子木 一ニヒヨシノ木トイフ其木 黄楊木ノ

赤ニ黒ヲ帯フ 黄白ニシ 第四十三 上世オホムカシ 鑄造イモ 後世ノチ

テ堅シ 神代ヲサス 後世ノチ



大抵オホキ水銀スイジンシヤリシヤリ光ヒカリを發ハツせしむ

ヒカリヒカリ其狀ソノカタチカタクチカタクチ八花ハツハナ形カタチ即神前イソノカミ三供ミツケスル鏡カガミ方圓カタマタ々

ルル近來キンライゴロゴロ船載フネノカハクハクライライ外國イノクニヨヨ玻璃鏡カガミビイドロビイドロ行イダ充チウ

るるハヤハヤ第四十四ダイジウジウ樂器ガクキ三管サンカン三管サンカン三管サンカン三管サンカン三管サンカン

鼓カ三ツサンツノ合奏ガフソウハヤスハヤス橫笛ヨコフエ七孔シチコウニシテ笙シヤウ竹管チクカンコ匏コホウ中チウ二植ニシツ

穴アナアリ薄金葉ウソウキハヤヲ以テ之ヲ障サマシフ吹ク時ハ之ヲ鼓カニシテ聲コエヲ出ス之ヲ簧フエト云フ大ナルモノハ十九簧ジュウクウ小ナルモノハ十三簧ジュウサンクウアリ

箏ソウ箏ソウ竹ヲ以テ管カントシ蘆アシヲ以テ舌シタトス六竅ロクセウアリ和琴ワキン又東

イフ形カタチ箏ソウニ似テ琵琶ビバハ長ナガ廿三尺五寸ニシテ四弦シツゲンアリ下ヨリ短カク小サシ

ヲ以テ名トス、箏ソウ形カタチト瑟セクニ似テ短シ十三弦ジュウサンゲンアリ大鼓オホカ羯鼓カクコ本胡ホンコ

リ故ニ鉦鼓シヤウコ○樂管ガクカン音樂ガクニ用クノウニ用ク草笛クサフエシマヒ

ハヤシニ用ク樂鼓ガク音樂ガクノ統トウ大鼓オホカ細ホソヲ以テ續ツグメ音聲オンセウ俗曲ソクキョクタルキ

第五ダイゴ刀劍タウケンカタクナ鍛冶タウゲヤカデトツニ名匠ナメイヨキサイヒトハ

○両刃リウビン○脇指ワキサシ第甲六ダイケツロク長刀ナガタチ薙刀テイタチ○僧徒ソウトボウズハ

仗チヤウイタクサ武人ブジンヲ以テ鎗ヤリ○創造ソウゾウツクルテ鉞セン○遺制イシツクリカ

俗ソクニ鐘シヨウ又素鐘ソソウシヨウ十文字ジュンモンジ片鎌カタカマ第四十七ダイジウシチ鑊カク砲ポウ鳥銃トウジウ

○天文テンモン後奈良朝ノチノナガラノチウ種タネバ鳥トリ島シマ名ナ後ニ鑊カク砲ポウヨリ之ノ不フニノセキ

小學校讀本字解 卷之二

三



兵部丞時堯 兵部丞官名時堯八名 近世 西洋 国 愈出て愈

巧 ヒガシマウツニナル 其目 拳銃 洋語ピストルトイフ

或ハ腰 馬銃 馬上ニテウツ、三ニサグ、馬乗砲トイフ 手銃 ゲールル三ニ 文祿 後陽成朝年号

比 〇元の時 支那昔ノ時代 發明 エハヤ 漸く イニ 實彈 マヌマル

直射 マスグニ 筒臼丸 ウチダス 〇破裂 ワレサ 製造 コレラ 蓋天

五金 金、銀、銅、鐵、錫 黄金 即金ナリ 白銀 即銀ナリ 聖武 四十六代ノ天子ノ御名 天

平年 守 カニクニノ 百濟 クダラ の敬福 ケキフ 〇小田郡 コノ 〇採取 ト 獻

淡青黒 ウスア 金沙 キンシヤ 雜石 マシ 碎き クダ 石ヲノマカ

淘汰 水ニテ 磨 スリ 〇鑄合 コ くる 金ト石ト 鑛砂 クワ 砂金 シヤキン 〇

天武 四十一代ノ天子ノ御名 國司 ツカサ 忍海 ニシ 大國 オホクニ 〇採取 ト 鑛

同方 ハウ 今 イマ 第四十九 ダイジュウユウ 銅 ドウ 〇元明 四十四代ノ天子ノ御名 和銅 ワドウ 年号 ノ 武

倭鉛 一二重鉛ト書ス、其質鉛ニ類ス 鑰石 カギシ 真鑰 マカギ 鑛鑿 クワ 鑛 クワ 〇諸般 シロバ 音

を發 ハク せ セ る ル 赤銅 セキドウ 〇和 ワ 一 イチ 〇鉛 レン 〇唐銅 トウドウ

〇白銅 質柔ニシテ、錫ニ似タリ、其色白シ 黄銅 質剛クシテ、鉛石ニ似タリ、其色黄ナリ 新發明

第五十 ウヅ 羽後秋田 アキタ 〇酢 ス 〇蒸 ム 〇入 イル 〇テ



鉛粉 又唐ノ土ト書ス、多ク繪ノ具ニ用ユ、  
鉛丹 赤粉ナリ、多ク繪具等ニ用ユ、  
質 真ノ胡粉コレナリ、後章ニ見ユ

較堅 一モイマイガ、鉛ヨリ、  
文武 四十三代ノ天子ノ御名  
白錫 〇獻ル

即是 トリモナホサズ、錫  
白目 鉛ニ錫ヲ和シテ煉成ス、錫燕鑊ノ内面ニ引キ、或ハ漏ヲトムルニ必

用モ此類 ス、ナマリ  
第五十二 鑛山中ノ土を崩 出ル

山ノ中ノ 土ヲホリ 帝を敷キ、川ノナカニシキ  
其上 鑛ノマヅリ 鎔化 火ニカケ

銑再煉 一週日 即七日、  
銕爽 又鑛 第五十二

玉 那ニ産ス、支 馬腦 礦物ナリ、赤白黒ノ雜絶アリ、薄紅色  
水晶 礦物ナリ、其質透明堅硬ナル

津輕 地ニカケ 中に苔あるあり

馬腦ノナカニコケル 上品 小蟲 水苔 含 第五十三 石

炭岩柴 〇諸州ノクニ 穿 塊 燃る 〇泥炭 〇

微帶 第五十四 砥 〇鳴龍戸澤 並地 名 剝力砥 〇名

倉嵯峨 並地 名 内曇木屋川 蘆野山 並地 名 礪 〇島原

天草 並地 名 第五十五 画の具 緑青 〇孔雀石

孔雀ノ羽色ニ似タ 鸚鵡石 鸚鵡ノ羽色ニ似タ 簧 〇淡き 〇白

緑空青 紺青 群青 代赭石 並繪具ト用ユ 土塊 〇朱 〇胡粉

〇介類 螭蛤等ノ殻ヲイフ、唐ノ土 第五十六 蚕 〇練帛 結 〇草



書より  
訛○光羽二重○龍紋○無

紋紗綾  
モヤウノキヤナリ多ク  
強  
横緯  
二織リ

第五十七 錦○綵○文  
モヤ  
倭錦綴錦金襴縞子地

平金絲  
○薄紙  
金箔  
シタルモノ  
押ツケ堅地○織

法○混以  
ニスル  
第五十八 綴子  
縞子地ノ  
純子○八系

綴  
黒花色縞等アリ多ク  
ク婦人ノ帯ニ用ユ  
縞子○假○七系綴  
縞子地ノ  
縞

珍  
○縞子地  
ドニスレユチニハ  
綾子  
縞地ノ織物花綾  
縞子

○綾  
縞類ニシテ文  
紗綾  
純地ノ  
縞地  
第五十九 縞紗  
縮

縮  
○生絲  
イト  
縮  
○其類  
チリメン  
風折○御

召  
○八丈鳥  
伊豆ノ国  
博多ノ津  
筑前ノ自  
純真綿ヲ紡

織リタル  
佳  
ヨキ  
南部  
陸中ノ  
蘭船  
テ地合強シ  
改機  
奇麗ナ

ル  
第六十 毛織類  
ケオリモ  
羅紗  
綿羊毛ヲ系ニマシ  
テ織

ル  
呉羅  
綿羊ノ毛ニテ  
織ル其色種々アリ  
哆羅絨  
○綿羊  
畜養シテモ

毛布ヲ  
牛郎綢  
○駱駝  
亞斯伯辺ノ産ニシテ能ク重キヲ負ス  
織ル  
沙漠中旅行スルニ欠ク可ラザルノ獸

羊  
ヤギト云フ毛ハ毛種ヲ織ルベシ  
羊ニ次ク用アルモノナリ  
常  
テレンプ  
多ノ敷

小  
三浦

三浦

三浦

三浦

三浦



花模様ハナモヨウ 絨ニ 毛種モウシニ似テ花模様アリ 絨ニ 毛種モウシニ似テ花模様アリ 多ク敷物ニナス、毛モヘール 毛織物ナリ、多ク羽織或ハ鳥合羽

製ル、毛マウシ種シ敷物、サイモール 舶来ノ毛織物、フラン

ゲツト 紺青コンセイ 藤黄トウワウ 白シロ 紺等ノ色アリ、何ナニ 捍タカ 毛モウシヲオリマ

ツク非ヒビ 毛モウシヲオリシモ 第六十二布 緞テン 影カゲ 対タイ 暎ヨウ 暎ヨウ 暎ヨウ

○世ニ絹布ト並 麻布 麻アサヲ績シク績シテ織リ 奈良晒 大和タカチホ 奈良ナラ

子コ又ハ羽織 近江晒 近江チカガハノ野洲ノノヨリ出デツ夏ナツノ 名著ナニシ者モノ 一ヒトカシ

越後縮 越後エチゴノ小倉コクラヨリ産ス、白シロ 紺カスリ 縞等種々アリ 苧カサ

麻アサ 異ヒトナリ、葉ハ楮カサニ似テ花又ナシ、一株ニ雄花雌花アリテ 穂ホヲナス、外ノ粗皮ヲ去リ、内ノ白絲ヲ取り縮シヲ織リ成ストイ

フ 薩摩帖布 薩摩サツマ鹿見島カミシマ近地ヨリ産スト云フ、麻アサヲ以テ製シテ

ク染ナストイヘリ、故ニ光沢アリテ、屢洗ヘレ其色変ラズ、小倉木

綿ワタ 豊前トヨノミノ小倉コクラヨリ産ス、博多ハクダニ似タル地 摸擬ボキスル 葛布カサ

掛川カケガハヨリ出デツ、葛カサノ皮ヲ水ニ調シヒ、細ク其織リヲ裂キ、絁シロギテ糸ニ

製シ織リタルナリ、袴羽織合羽等、夏ノ衣類ニ用ウルナリ、

芭蕉布 琉球リュウキウノ名産ナリ、芭蕉ハセノ皮 紙布 紙カミヲ元結ノ如ク織リテ

藤布 藤皮トウヲ製シ織リタル布ニシテ多 奇品キヒン メツラレ 木綿キムタ

布ヌメ ○久ヒサシき小耐コタヘ 洋布 地チ白ク巾ハカマ廣キ 柔軟ジュウゼン ラカ

體小可タカラカある 第六十一衣服 製シコレヲ 世ヨ不

カヲダニヨ 第六十一衣服 製シコレヲ 世ヨ不



隨シタカひ時トキ小由ヨリ世セニツレ時トキノハ變ハルカハ袴ハカマ羽織ウヅリ○平常ヘイジョウ

ツネフ 貴賤キケンニブンノイヤシキモノ、着キル諸シヨ様サマノカク廢スル

特トクニニニ 襦ジュ高カク○存ソンせりり原ハル道路ダウヂ○塵チ埃カイコリ 避サシ

るヨク 道ミチ服フク○禮レイ服フク第ダイ六ロク士シ 帛ハク類ルイ 縫ヌイ造ゾウ 紵ヂ 紵ヂ 紵ヂ

俗ソクニ小袖コソデ 小袖コソデ○布ヌ類ルイ 布ヌ子コ綿ワタ入イル○寒サム時トキ

未ミ即ソクニ 麻アサ類ルイ 衫カミ○棉ワタ布フ 浴ユカ衣カ○暑シヨ月ゲツ

冬フユ 其ソノ質シツラヘニテ、名ナを異コトハル 只タカ裕ユのシ裕ユハ

ハ 布フ帛ハクをツク通ツて 襦ジュ祥シヨウ○膚ハダ褌フク着キ 袴ハカマ

衣服各  
袴前  
襦褌  
身衣  
袂大  
袴前  
襦褌

トツトヒトヘジユバン、近キン來ライ 制セイ 第六十四夜着○

袈カサ 故コトニ夜ヨ具グヲツクト云フ、抱カキ卷マキ蒲ハ團ダン○原ハル佛ブツ家カのゴ語ゴ

門カド家カニテイヒ 卧シヤ褥ジュ坐ザ褥ジュ 併ヒせてヒトツニ 夜ヨ具グ第ダイ

六ロク五ゴ 古コトのノ飯イノメ米メをツク蒸シ ○強コハ飯イ 釀ゾウ法ホウ

酒サケノツク 飯イ 水ミヅ不フ 釀ゾウ 酸クサ 俗ソクニ

中ナカ分ワケ 米メ麩フ水スイヲツク和ワシツク攪カキセム包ツクムコト一ヒト次ツギ 大オホ分ワケ 米メ麩フ水スイヲツク和ワシツク攪カキセム

ルラヲツク 搾シるル ○味アジ淋リン ○燒ヤキ耐タ 新ニ酒サケノシ 糲シ 糲シ 糲シ

モモノノ糯ヌ米メ麩フ 第ダイ六ロク六ロク 飴アメ ○大オホ麥マク芽メ 煉レン

ハ 是コトノノ 第六十六 飴 ○大麥芽 煉



リ 火ニカケ 水飴 ○ 錫 ○ 名品 メイヒン 百花の蜜槽 ミツサウ イロクノハ

アルアマ 採り 蜂ガス 釀 カモ 成せる 蜜ヲコレラヘル 砂糖 ○ 甘 カシ

蔗の莖 サタウノ 煎煉 ニツ 蝦手 カデ 俗ニモ三ツノ類トス葉青クテテ

如し因 サチ 甜菜 サチ 六七月頃生長シ色青ク葉四ツ 食味 タベモノ 甘 アマミ

和 クワ 和 アマミヲホ 第六十七鹽 ○ 赤穂齋田行徳

龜 カメ 百物 オホク 調和 ヨククル 味噌 ○ 醤油 ○ 大豆 マメ 熬

リ ○ 屢 シバシバ 拌 マゼ せ ○ 熟 シユク ル 鹹 シホ 以上 マハ 三種 塩味噌醬

和 クワ 以 マセ 第六十八 酸 ス を 和 クワ せ 蒸飯 シユメ 釀 シユ 熟

ツクリ 頭酢 ○ 辛 ○ 芥子 蕃椒 山椒 山葵 ○ 苦味 ○

欸冬花 フキハナ 也本草ニ云フ欸ハ至也 芳香 カウシ 第六十九

饗 ○ 餅 ○ 搗 ツキ き ○ 糕 ○ 粳 シユ の 粉 コ 米 コメ 團子 ○ 麪 ○ 澥

太 ホソ 餛飩 ○ 真 マコト 油 アブラ を 和 マゼ せ 細 ホソ く 延 ヒキ

ス 索 ソク 麪 ○ 蕎麥 第七十 菓子 カシ 木實 ○ 轉 テリシ

乾果 ○ 餡 アヘ 餅 シユ 油煎餅 シユ 名ナリ 糰餅 カシ 糯米ニ麪ヲ和シ油ニテ煉

麩 カシ 粗粒 シユ 米 コメ 蒸 シユ 晒 シユ 乾 シユ 炒 シユ 工 クワ 夫 カシ 精好 シユ

名 シユ 目 シユ 菓子 第七十一 饅頭 ○ 醴 シユ 麪 シユ 二飯 シユ 和 シユ 一夜 シユ 二熟 シユ

因 シユ テ 一 夜 酒 シユ ト 稱 シユ ス ア シユ マ シユ ガ シユ ケ シユ ハ



俗言 小麥粉 ○ 餛小豆ノ粉ニ沙糖ヲ和シテ製ス 裹 ○ 曆北朝ニ代

年 林淨因支那ノ人 其法饅頭ヲツクヤウカ 羊羹沙糖ニテ製ス故ニ 應

仁應仁八百三代後 既ハ 求肥葛粉ノ糖ヲ和シテ製ス 浮石糖沙糖ニ

墨ノ形ノ如ク味最モ 煎餅沙糖ニ麩ヲ和シテ 浮石糖沙糖ニ

テ浮石ノ如ク因テ此文字アリ、 氷糖沙糖ヲ煎煉シ微シク 天正百六代正親

子糖沙糖ニ麩小許ヲ和シ轉煎シテ製ス 天正百六代正親

讀本字解卷之二 畢

讀本字解卷之三

第一種類 餘品リ至ル 糯粳 ○ 早ハヤク 中ナカ

晚オク 種ウエ 常ツネニ 圃 ○ 早稻 ○ 秈 ○ 船

來外国ヨリ 大唐米二南京米 水旱糯ノ別

圃二種ルトウル 味輕淡アチハヒカ 希ナキ 第二

飯不造 漬水ニツケ 日を経 假ノ 田

小種ウエ 苗代稲種ヲ假ノ田 芽を生 比水田



山陰諸名産角 卷之三 三浦赤松

よ分つ ミズタニワケ 田植 ○拔去る ヌキス 農家 百姓ノ

稼穡 稼ハウエツケルコト、 辛苦 ホネ 記 カキタ 勝ふべ

から カキツク 第三 ツツミ 人生 ヒトノ 麥 オホ 大小 オホ

ギ コト 麥 マ 土地 ニ由リテ ハツ多イ 或ハイリコト云フ 芭 ヒゲ 然れど

も ソウジヤ 麥 ○ 麸 土俗カラ 洗ひ 汚を去る アユヨゴ

第四 粘 黍稷 ○ 猶 ド 粟 ○ 蜀黍 ○ 粟 ○ 唐糕

玉蜀黍 南蠻 ○ 炙 リ 饅饅 ○ 形 梅花ニ類ス 糝 ○

ハ悉ノ如シ 其米ハ粘ラザルモノナリ 稗 ○ 諸穀 ○ 諸穀 ○

蜀黍ハ 名タカキ 三ト云フ 其丈ノ高 キヨ以テ 其ノ皮或 ハマウキヒ ト云フ 玉蜀黍ハ 俗ニカウラ 云フ

ビヒエナドヲ サレテ 粒食 を資ク 餓 ノ 大益 ○ 第五

豆 ○ 二類 ○ 豌豆 ○ 蠶豆 ○ 大豆 ○ 刀豆 ○ 藤豆 ○ 大角豆 ○ 黑白黄褐斑 ○ 小豆 ○ 大

按スルニ 其莢ノ形 千 蚕ニ似 刀豆 蔓生ナリ 未熟ノ時ハ 共ニ煮食ス 或ハ漬物

トナス 其莢ノ形 殆ト 鐵ニ 藤豆 蔓生ニシテ 花紫ナリ 四五

隱元 豆 一種ナリ 土地ニヨ 大角豆 煮食シテ 餅ニ製ス 大

味 噌醬油 豆腐等ニ製ス 其 黒白黄褐斑 ○ 小豆 ○ 大

土俗 大ナルヲ 大納言 アツキト云フ 緑豆 和名 豆 ○ 扁

再 三蔣ケバ 又 再三 実ル 故ニ ヤ ナリ 豆 ○ 餅 ○

ノ名アリ 白餅ニ製ス 其味最美ナリ 豆 餅 ○

隱元豆ハ 字治ノ 藤山ノ 僧 隱元 禪師 明国ヨリ 携来リ



く○十六大角豆 ハキキ時ハ莢トモ煮食ス莢ハ細長シ実ハキクニ十六ヲ包ム故ニ此名アリ

莢形 サヤノ 第六 蘿蔔大根呼習へる イヒナ 細根大

根 ○波多野大根 相模波多野ヨリ出ツ故ニ名トス 極めてク味美 ウマ

宮重大根 尾張宮重村ヨリ産スルヲ以テ名トス 葉青 ○尾花川 地名

近江蕪 ○菜類 ヤサイノ 葉莖根を連ぬ ハクキ、ネヲモ

第七 根をの 根ハ 牛蒡 胡蘿蔔芋類 イモノ 百合蓮

根 ○里芋 一ニ青芋ト書ス莖青ク 唐芋 一ニ紫芋ト書ス莖長クシテ色ハ紫赤

ナリ、魁球ハ大ナレド子 ハ 八頭芋 畠ニ作ル頭ハツアル故ニ此名アリ煮食スレバ味良ナリ

糖芋ハ食ス

蓮芋 莖ニ疍アリテ啗遊ノ如シ食用ニ 併セニ 薯蕷 畑ニ作

ク肥タルヲ長芋トイヒ、自生シテ瘦タルヲ自然薯 タニヤウヒト

トイフ、又葉間ニ実ヲ結ズ之ヲ零餘子ト云フ、 單稱 ヘニ

トナオカ バツシユ 自ラ別種 ツノタネ 佛掌薯 畑ニ作ル其形手掌ノ

トシテ生食スルヲ常 カシウイモ 黃獨 蔓生ニシテ根ハ芋ノ如 皆類

トス其味山芋ニ類似ス モノタダヒ 甘藷 赤白ノ二種アリ冬月成熟ス燻 皆類

製ス等ノ 馬鈴薯 山野荒瘠ノ地ニ作ル根ハ黃獨ニ類似シ

効アリ、ニテ多ク之ヲ作ル依 オ 各別 サツマイモ 漬菜冬菜 ○塩小

テ俗間或ハ甲州芋ト云 イモノ名 第八 單 ツケナ 漬菜冬菜 ○塩小

を胃りせる イモノ名 第八 單 ツケナ 漬菜冬菜 ○塩小



漬ツケ 西京ノ水菜

稱トク 芥菜

實ハ粉ニ製シカラシトイフ

加味ニ

苜蓿

葉花共ニ薺ニ似タリ春黄花ヲ開ク故ニ苜蓿

苜蓿ニ作り形状性味畧タウチサニ似タリ食用トナス

按スルニ或人曰クハウレンハ本ト唐音ナリト云フ

救種アリ多ク紫色ニシテ葉ニ皺アルヲ好シトス梅ヲ漬

ルニ必用ノモノナリ子ハ藥用ニシテ蘇子トイフ

第九專モウラ 芥セリ 池沼淺キ處水田ノ中ニ生ス

葱ネギ 畑ニ作り四季共ニアリト云フ

野蒜ノビル 原野又畑側等ニ自生シ

嫩苗ワカサ 蕨ワラビ 原野ニ生ス

宿根草ナリ春日芽ヲ生ズ初卷縮シテ葉ノ形

ヲナサズコノ時採リテ煮食シ或ハ乾シテ貯ス

款冬キキョウ 冬ノ中ニ花アリ藪薔ノ如ク根ヨリ生ジ其蕾ノ地上ニ出

ル者ヲフキノトウトイフ生食又ハ煮テ食フニ苦メ香味

味を資クスイクチカラミ 山葵ワカサ 山中溪間ニ自生シ或

ハ山人之ヲ山間ノ畑

ニ培養スコレ辛ク 蓼セリ 圓葉長葉ノ二種アリ食

類中ノ上品トス 蓼セリ 料ニ和シテ用ユ其味辛

二作ルモアリ夏秋花ヲ生ス之ヲ食用ト

ス香味アリ根ハ粉ニ製シテ藥品トナス

蕃椒ワカサ 種類多シ其味辛烈ニシテ

燒クガ 第十實ナセ 瓜ウリ 瓜ウリ 畑ニ作ル菜ニシテ形状種

瓜ウリ 土俗トウグワン或ハカモウリトイフ形子圓大ニシテ

瓜ウリ 上ニ白粉アリ煮テ食ス其味澁薄ナリ夏日食スレハ霜ヲ

受タルヲ 白瓜シロウリ 土俗又アサウリトイフ其色白シ塩藏或ハ

佳トス 酢ニ浸シテ生食ス其味極メテ美ナリ



黄瓜 キウリ 長短ノ二種アリ瓜中ノ最モ早ク生育スル 醬瓜 形千白瓜ニ似

太久其色 濃緑 ナリ、紫青 ○ 唐茄南瓜 ニゴリ テ稱ヘテ異ニス、

扁瓜 ヒラカ 皮ハ青久其肉ハ赤シ水 甜瓜 色黄ニメ緑條アリ形千必ス櫛

ナリ美濃真梨村ニ産ス 果小 充テヘミコミテ 属 ビ算

第十一 果実 コノ 実ル 淡紅 ベニ單辨 ハナヒラ 重

辨 ○ 美 イ 稀 メツタニ 光桃 実ニモナキ 梅雨 中 ヲ五

穂 ホ を垂 ホガサ ガリ 菜彙 ○ 二三子 ツノミ 茅栗 実ノ形小

グリトモイ ス味美ナリ越後ノ三度粟ト称スルモノ 第十二

清香 キヨキ 賞 ナガメ 酸味 アシ 主 シ 野梅 ○ 互 ト 得

失 ツ 花ガ美ナレバ実ヲ結ブコト少ナク実ヲ多ク結ベバ 其

種類 種 梅ノタアズ 杏 春月花ヲ開キ梅雨ノ後実 樹葉 ハモ

第十三 熟 俗ニイ コト常 ノ 李 アタリマ ヘ 青李 ○ 五

辨 五ツノハ 擷 リ イツレヨ 諸果 モロクノ 夥 其字

李ノ 酸 桃 ○ 呼 ベ 呼 ル 第十四 梨 ○ 枝 を 撓 め

架 ○ 摘 み 去 り 花 ヲ ヲミ 紙 の袋 ○ 覆 ひ ヲ 養

ひ成 成 心 力 を 勞 ラ 頗 心 力 を 勞 ラ ヲホドコノ口ト千カ

小學讀本字解 卷之三 三浦藏版



柿 ○木 醜 ○酒氣小薰 酒ノアキタルヘイレテ酒樽

拔 ○凡て オレナカンビ アマク ヨクフ 齒を損す

白 柳 白キ粉ヲカセシモノ 烏 柿 白キ粉ヲカシ

其患 齒ヲイタ 第十五 橘 夏月小白花ヲ開キ冬

如昔 ○垂仁 十一代目ノ 朝 田道間守 人名三宅連

外國 古書ニ常世 此類ノタダヒ 我國ノ日本 ○蜜柑 夏

ヲ開キ冬月ニ至リ黄熟ス皮ヲ削 柚 其味酸シ糖藏或ハ煮

橙 柑類ノ大ナルモノニシテ、香 朱 藥 樹葉花ハ

五

實モ亦柚ノ如クシテ大ナリ其味酸滋ナリ糖藏 枸 椽 佛手柑

其香氣衣服ニ移シ以テ人ノ賞スルモノナリ 佛手

柑 實頭裂テ露人ノ手指ノ如シ冬月黄 普 第十六

人間 ヨノナカ ヨハイニタ 扁 柏 杉 ○緊要 檜 キ 側 柏

大木ナリ其葉攢ニ似テ扁 花 柏 桶ナドヲツク 朽 茗 茗

雄 松 皮黒ミヲ帶ニ 雌 松 皮赤ミヲ帶ビ 異 品 五 葉 ○

玩 弄 モテア 朝鮮 松 ○北 海 道 ヒシ所ナリ 第十七 狗

植 高 野 植 羅 漢 松 実ノ形千僧ノ袈裟ヲカケ 金 松 世人多



佛前ニ供ス即高懸不異ある オホヒニ 葉間 ハノア 下大 モオホシ

野植ノコトナリ イロ 紅色 コウシヨク 上ノ緑の小丸 ミノウヘニ 佛像 ブツゾウ

ホトケノ サヤク 細葉 キハ 高野 カウヤ 樅木 ヒノキ 似テ矢筈ノ如シ

劣第十八 桐白桐梧桐 ○良材 リヤウサイ 木淡紫 ○島桐油 シマキリウ

桐 ○捲る ○頼桐 タモ 高サ二三尺ニ過キズ夏紅花ハナ ナ 花を賞ヒ

ハナヲ夕 ノシム 第十九 材の堅き カタ 櫛櫟 シ ○粗大 コソオ

ホキ ノコギリ 鋸齒 ノコギリ 葉ノフチノコ ヤキテス 炭を焼キ ヤキテス 薪小伐る

伐テシキ モノニスル 櫛 ○亭落樹 コナラ 樹ノ高サ丈許葉花実共ニ ハクイ 柏櫛

○並 ナラ 子 コ を ヲ ど ノ 栗 ○小兒 コドモ モ 翫 カシ ふ モテ 状 ○類 ルイ

ニテ シ 雄 オス 推 オシ ノ 実 ミ ハ 熟 マク リ テ ハ 榛 シ 冬未花ヲ開ク ハ 櫟花ノ如シ ハ 其実ハ櫟

ヲ生ズ マ 皺多シ マ 真櫟 マキ 楨ニ似タリ マ 材堅キ マ 以テ マ 櫛櫟 シ 木理麁ク マ テ

故ニ此名アリ マ 匣案 コ 第二十 櫻 ○樺 カバ 山中ノ マ 單花櫻

ヲ作ルニ良シ マ 殿柱 テ ハシラ マ 匣案 コ 第二十 櫻 ○樺 カバ 山中ノ マ 單花櫻

ナリ其木山桃ニ似テ色黄ナリ マ 谷桑 コ 葉ハ常ノ櫻ニ同シ マ 花ハ

小班点アリ マ 皮ハ厚シテ軟柔ナリ マ 谷桑 コ 淡紅重瓣相集リテ開

ク恰モ房 マ 庭櫻 ○郁李 ○千葉 チヤウ へ 小米櫻 ○笑靨花 ハ

其花細ニシテ状鱗ノ如シ マ 一 マ 扶移 シ 白楊ト同類異種 マ 辨 ○簇 サカ

條ノ花コレヲ望ムニ堆雪ノ如シ マ 圓葉弱蒂ナリ マ 辨 ○簇 サカ

リ 第二十一 漆 ○吾國の産 ニ 日本ニテ マ 勝れり マ アル



樹皮ツレヒカハ傷キツけブリキリヤ脂アブラキキノ採トリ集アツめセルトリヨ諸方シヨ小

輸ウツノレヨコクク製セイ造ゾウシラヘル、器キ物ブツを塗ヌるゼンワシナリ陸羽リクウ

三陸ミツニ羽ウヲウ、せーめ漆ウルシ生キ漆ニシテ下カ品ナリ、物モノヲハ花ハハハるハ

製煉セイシタル漆ニシテ物モノヲウ、吉野漆ヨシノウルシ大和ヤマトニシテ多ク製ス上ニシテ塗リ光沢ヲ出サシムル漆

ナリ訛アヤマリマチガ蠟ラウを造ツクるク第二十二ニ桑クハ○白桑ハクハ雜桑ササミクハ○

岐シハノキノ形カタ状カタ一イ様ヤウヤウオナジ蚕カガを養ヤシふカヒコカ佳カヨシトス楮カハ

俗ニ紙ノ鹿イ一ヒ枝ニ、三葉ヲ生ズ、其葉面青ク背淡白ニシテ木トイフ、微シ毛アリ、小白花ヲ開ク五月実熟ス其色紅ニシテ

味ニシテ甘シ第二十三ニ構カウ○栗花リシクハナクリコ此皮カハを剥ハき楮ノカハラ

七

細コり小碎チき○黄蜀葵ワウシクイ葉ハ廣ク大ニシテ岐ノ深ク久シ蜘蛛ト

ニ似ニ根ネ汁シ雜マ紙カミを抄スく○裁カ作ツクる○結香キツク每ツ枝ツ

三ツニシテ葉ハ水揚ニ似タリ、蕙ケイ花ハ木皮共ニ櫻ニ似テ萩ニ類ノ花ハ黄ニシテ小ク房ノ如シ、花黄十ニ、高サ數尺ニ過

キツク製ル第二十四ニ茶チヤ○僧榮ソウエイ西サイ京キョウ都ト建ケン仁ニ支シ那ナノ種クダをク

傳ツタへ榮西サイ宋ソウヨリ歸ルニツクウエ僧ソウ明メイ惠ヱ楸クノ尾ビノこれを播マき植

多タ茶ノ種ヲ楸ノ尾ニ植エ、其製茶ノコシ漸ヤク精くシ、イニ

ニナルニ製セざる地茶ヲコシラヘストコロ、舊キウ小コ仍ヨリムカシ宇ウ治ヂ

の産サン山城ヤマシキ宇治ウヂニテ、茶チヤ梅バイ一ニ海カイ紅コウト書ス花淺セン紅コウノ山サン茶チヤニ似テデキル茶チヤ小サシ一月ヨリ開テ三ニ月ニ至ル梅バイ花ハ

二二 續本草 卷之三十一 三三 清蒲片



ト時ヲ 微<sup>ス</sup>黄<sup>キ</sup>を帯<sup>オ</sup>ふ スコシクキイ 秋<sup>アキ</sup>の末<sup>スエ</sup>九月 種<sup>シ</sup>楡<sup>ロ</sup>

同<sup>ウ</sup>フス 第二十五 山茶<sup>ツツジ</sup>○椿<sup>ツバキ</sup>字<sup>ジ</sup>○香<sup>カ</sup>椿<sup>チン</sup> 漆<sup>シ</sup>樹<sup>ジュ</sup>ニ似<sup>ニ</sup>タリ、嫩<sup>ニ</sup>葉<sup>ハ</sup>ハ

其<sup>コト</sup>木<sup>ウ</sup>肥<sup>ユル</sup>赤<sup>ク</sup>久<sup>ク</sup>其<sup>コト</sup>多<sup>ク</sup>種<sup>シ</sup>シユルイ 三<sup>サ</sup>百<sup>ヒャク</sup>品<sup>ヒン</sup>小<sup>コ</sup>過<sup>ス</sup>ス 三<sup>サ</sup>百<sup>ヒャク</sup>シヨ

壽<sup>ス</sup>長<sup>チヤウ</sup>シト云<sup>フ</sup>、 和<sup>ワ</sup>産<sup>サン</sup> 日本<sup>ニッポン</sup>ニテ 西<sup>セイ</sup>洋<sup>ヤウ</sup>各<sup>カク</sup>國<sup>クニ</sup>ノ 和<sup>ワ</sup>名<sup>メイ</sup> 日本<sup>ニッポン</sup>ノト十<sup>ト</sup>八<sup>ハチ</sup>○サ

第二十六 枝<sup>エダ</sup>細<sup>ホソ</sup>く。下<sup>シモ</sup>小<sup>コ</sup>垂<sup>タリ</sup>る 下<sup>シモ</sup>ニサ 柳<sup>ヤナギ</sup>○粗<sup>アツ</sup>揚<sup>ホウ</sup>○水<sup>カ</sup>揚<sup>ヤナギ</sup>

生<sup>ナ</sup>ズ 宮<sup>ミヤ</sup>柳<sup>リウ</sup>垂<sup>タリ</sup>柳<sup>リウ</sup>蒲<sup>フ</sup>揚<sup>ヤウ</sup>白<sup>ハク</sup>揚<sup>ヤウ</sup>○異<sup>イ</sup>ヒ 荑<sup>ヒ</sup> 俗<sup>ソク</sup>ニヨ<sup>ヨ</sup>ノコ 幹<sup>カン</sup>太<sup>タイ</sup>

く オヤギスエトガ 葉<sup>ハ</sup>ノサキ 第二十七 樹<sup>ジュ</sup>木<sup>モ</sup>キ 舍<sup>セ</sup>てノケ

海<sup>カイ</sup>棠<sup>ドウ</sup>○蒂<sup>テイ</sup>紫<sup>シ</sup>黒<sup>ク</sup>色<sup>シキ</sup> コイムラ 垂<sup>タリ</sup>絲<sup>シ</sup>蕾<sup>ライ</sup>山<sup>サン</sup>海<sup>カイ</sup>棠<sup>ドウ</sup>山<sup>サン</sup>查<sup>サ</sup>

子<sup>シ</sup> 二<sup>ニ</sup>種<sup>シュ</sup>アリ、共<sup>ニ</sup>果<sup>クワ</sup>物<sup>モノ</sup>ニ充<sup>ツ</sup>ツ 第二十九 木<sup>モ</sup>蘭<sup>ラン</sup> 水<sup>スイ</sup>立<sup>タ</sup>ニシテ其<sup>ノ</sup>葉<sup>ハ</sup>

と共<sup>ト</sup>子<sup>シ</sup>花<sup>ハ</sup>を開<sup>ヒラ</sup>きニハナサク、 玉<sup>タマ</sup>蘭<sup>ラン</sup>○葉<sup>ハ</sup>小<sup>コ</sup>先<sup>サキ</sup>とち

ハノデヌ 辛<sup>シン</sup>夷<sup>イ</sup> 葉<sup>ハ</sup>細<sup>ホソ</sup>クシテ長<sup>ナガ</sup>シ春<sup>ハル</sup>ノ花<sup>ハ</sup>トリ 蠟<sup>ロウ</sup>梅<sup>バイ</sup> 一<sup>ニ</sup>名<sup>ニ</sup>黄<sup>ワウ</sup>梅<sup>バイ</sup>花<sup>ハ</sup>俗<sup>ソク</sup>ニ

木<sup>キ</sup>瓜<sup>カ</sup> 種<sup>シュ</sup>類<sup>レイ</sup>多<sup>ク</sup>シ其<sup>ノ</sup>花<sup>ハ</sup>黄<sup>ワウ</sup>白<sup>ハク</sup> 百<sup>ヒャク</sup>日<sup>ニチ</sup>紅<sup>ベニ</sup> 此<sup>ノ</sup>木<sup>ノ</sup>皮<sup>ハ</sup>ナクシテ滑<sup>ナマリ</sup>カナリ花<sup>ハ</sup>

文字<sup>モノジ</sup>ヲ用<sup>ユウ</sup> 合<sup>カ</sup>歡<sup>カン</sup> 六<sup>ロク</sup>月<sup>ゲツ</sup>花<sup>ハ</sup>ヲ開<sup>ヒラ</sup>ク其<sup>ノ</sup>色<sup>ハ</sup>紅<sup>ベニ</sup>白<sup>ハク</sup>ナリ葉<sup>ハ</sup>畫<sup>エ</sup>開<sup>キ</sup>キ 棟<sup>トウ</sup>葉<sup>ハ</sup>

槐<sup>ケイ</sup>ノ如<sup>ニ</sup>ク四<sup>シ</sup>五<sup>ゴ</sup>月<sup>ゲツ</sup>ニ花<sup>ハ</sup>ヲ開<sup>ヒラ</sup>ク其<sup>ノ</sup>色<sup>ハ</sup>薄<sup>ウス</sup>

紫<sup>ムラサキ</sup>ナリ俗<sup>ソク</sup>ニセニダントノフ、 第三十 以上<sup>イジヤウ</sup>の數<sup>スウ</sup>品<sup>ヒン</sup>

マヘニアル五六<sup>シチ</sup>シナ○櫻<sup>オウゴン</sup>山<sup>サン</sup>茶<sup>チャ</sup> 紅<sup>ベニ</sup>葉<sup>ハ</sup>イノハ 愛<sup>アイ</sup>する イツクシニ

海<sup>カイ</sup>棠<sup>ドウ</sup>水<sup>スイ</sup>蘭<sup>ラン</sup>等<sup>トウ</sup>ヲサシテイフ、 蝦<sup>カマデ</sup>手<sup>テ</sup> 俗<sup>ソク</sup>ニモ三<sup>サン</sup>子<sup>シ</sup>ト云<sup>フ</sup>フモノ是<sup>レ</sup>ナリ、 特<sup>トク</sup>リ 蝦<sup>カマデ</sup>手<sup>テ</sup>ノ木<sup>キ</sup> 擅<sup>ハン</sup>不<sup>フ</sup>に

小<sup>コ</sup>學<sup>ガク</sup>詩<sup>シ</sup>林<sup>リン</sup>字<sup>ジ</sup>解<sup>ゲ</sup> 卷<sup>クワン</sup>之<sup>ノ</sup>三<sup>サン</sup> 三<sup>サン</sup>角<sup>カク</sup>菴<sup>アン</sup>院<sup>イン</sup>



キマニワガ 霜を被りて紅小變化する シモヲウケテ、 山

紅葉 ○ 甘蔗ノ木 春の芽此色 ハルマダシムアカキイ 班

葉第三十一 聳之 ガハラヌ 幹木ノ 冬を經れども フユ

枯れざる カレクシクボクホ 灌木牡丹 和名サツキ 薔薇

芙蓉 一ニキバナス トイニス凡ソ芙蓉ハ水ニ生スルヲ芙蓉ト云

梔子 花白クシテ 單瓣ト重瓣ノ二種アリム 木槿 小木ニシテ入其花

百両金 高サ二尺餘 幹アリ木ノ如シ緑葉ヲ生ス秋ニ至リテ葉

日用の品 ヨウマイニ チイリヤイ 一生を養ふ コノロヲナ 一端

第三十二 芭木 ○ 硬強コハシ 年を経ざれば ハイクトシ

雄蕊 尖細ニシテ 糸ノ 雌蕊 雄蕊内ニアリ 穀 コ 淡竹 ハチク 苦

竹孟宗竹女竹 ○ 箬山白竹根筴 第三十三 衣 キモ 太

麻苧麻 ○ 蒔 タネ 拔 ヌキ 皮を剥 カハラ 浸 ヒタ

細小裂 ホソク 線 セン 宿根 ○ 奈良晒 ナラシ 越後縮

布を織り成 タニモノ ヌオリ 第三十四 草綿

解前二 ア リ

按スル事

小學讀本字解

卷之三十一

三浦載成



綿六キヨネ  
訓云ヨ長  
リトス然  
厄今本書  
従ス

延暦 桓武朝 嵯峨天皇 元年 号 嵯峨 地名 漂着 翌年 太宰

府 筑前 中絶 文禄 後陽成朝 再盛 盛ウエル

淡黄 〇心紫 第三十五 寒を犯

先開く 福壽草 及く 黄紅青 〇六

草 雪中花開ク其花鷲草ニ似テ紅白シ 及く 黄紅青 〇六

第三十六 生 蕪米 長サ二三寸一莖二花ヲ開ク其

蒲公英 其花黄或ハ白アリ其 紫雲英 碎米薺

花 二種アリ本曾山中ニ多ク之ヲ出ス 及く 黄紅青 〇六

莖一花ヲ開ク其花紅或ハ白アリ多ク田 櫻草 花櫻花ニ似タリ因

二植ハ俗或ハ之ヲ誤テゲト云ス 十

紅紫黄白或ハ班等ノ數種アリ九輪 蕨 解前ニツク 土筆 二三筆頭菜ト書

草七輪草ト称フルモ亦此類ナリ 出ス 蕨 解前ニツク 土筆 二三筆頭菜ト書

俗ニ之ヲ袴ト云フ茎茹テ食用ニ充ツ 芽を發ス 〇彩色

地榆 花ハ穂ニシテ葉ハ萩ニ 刈萱 郊野ニ生ス甚ニ似テ枝ア

趣を成 第三十七 三雄 蕊 一雌 蕊

燕子花 杜若ハヤブメウガト云フモノナリ 胡蝶花

三四月頃花ヲ開ク其色白クシテ淡紫 一八 燕子花ニ似タリ

紫ナリ 或人曰ク北陸道ノ辺草薺 馬蘭 四月紫碧ノ花ヲ開ク

六月実ヲ結ズ其色赤

紅紫黄白或ハ班等ノ數種アリ九輪 蕨 解前ニツク 土筆 二三筆頭菜ト書



クシテ稜アリ此草ハホツアヤメニ似テネ  
シケタル態ヲナス因テ此名ヲ稱ス、  
溪菘 花葉共ニ燕子花ニ似テ小サシ五月

花ヲ發久、花菖蒲 花葉淡菘ニ似タリ新葉バ  
此種 此ハ一八ヨリ花 菖蒲マデヲサ

不種八種 第三十八 藥用 芍藥 花ハ牡丹ニ似タリ花  
類ナリ、モチフル 相ト云ス根ヲ葉トス

嬰粟 花ハ牡丹蓮花ニ似タリ多クサノチクノ  
草本 夕キタルヨ云ラ 亜げリツツ白

毛 美人草 春末 第三十九 自生トて  
スエ

淡紅 瞿麥 石竹 伊勢撫子 立田撫子  
コト

阿蘭陀石竹 愈々剪春羅 三月芽ヲ生ス高サ尺餘夏  
六瓣ノ花ヲ開久周廻前リ

成セルガ如シ色深紅ニ 雁緋 春苗ヲ生ス七八月花ヲ發久其  
シテ大サ錢ノ如シ、 色赤シニ眼皮ト書ス剪春羅ト

同類、仙翁花 剪春羅ト同類ニシテ其花ヤマサレリ初秋ニ  
異種、ノ仙翁寺ヨリ出テタルモノ

第四十 葵 種類多シ重瓣單瓣紅  
ナリ因テ此名アリト、 白淡濃或ハ紫葎ノ色

阿 蜀葵 形ハナノ 櫻花ノハナ 錦葵 更ニ 紫紋  
リ

ノフ 冬葵 加茂山ノ葵 葉ハ葵ノ如クニシテ二葉或ハ三  
イリ 葉ツ、生ズ花ハ淡紫ナリ一名蓮

草ト 向日葵 七月黄花ヲ開ク其花只日ノ在  
云フ 第四十一 牽牛花

○ 奇品 年毎小出づマインネ 變ハナガ 朝顔 ○  
○ 奇品 キシナ

鼓子花 野生 午前 開花の時 花ノサク  
ヒルガホ

然此ども 瓠花夕顔 約 瓢箪 匏 薄  
シカ



暮ボ所ユ以フケワ **第四十二** 自生ジセイハヒトリリ百合ハク○朱シユカカ姫ヒメ百ヒャク

合カ○鬼オニ百ヒャク合カ○琉球リウキウ百ヒャク合カ 莖短クシテ花白 久横ニ向ヘルナリ さうさゆ

了リウ花ハ白ハクククシシテテ赤セキ色シキノノ飛ヒ班バンアリリ其キ 車クルマ百ヒャク合カ 花ハ武島百合ニ似タリ葉

武島ブシマ百ヒャク合カ 花黄ニシテ小クカクシク 各種カクシクシシエルルキキ 近來キンライ殊シユ小コベベツツ

二 紅ベニ條スヂ 六月花ヲ開ク其色白クシテ太キ紅條 貴重キウチュウ 莖短ク葉潤クシ

四十三 秋末アキノマツ 大抵オホホド 四種シユ 貴船キフネ 莖短ク葉潤クシ

貴船キフネ社シャノノ辺ヘニニ多タシシ因イン 蝦夷エゾ菊キク 俗ニ細菊或ハ寒菊ト称ス 段菊ダンキク 一名

マ菊トイフ莖直クシテ枝ナ久葉山ク段刻アリ數 濱菊ハマキク 葉狭長

十葉莖ヲ抱キテ生ズ花白クシテ單瓣ナリ、 十一

滑ナマリカカナナリリ十ジュウ月ゲツソソノノ花ハヲヲ開ヒクク 其類キルイ 菊キクノノタタ **第四十四** 蘭ランノノ名ナ 蘭草ランクサ 又アラギト云

兩岐秋紫白ノ花 終ツシ小コ 甘網カンモ一イチ目メ 植物ノ花品ヲ大別セシラン

科カランランノノ 蘭花ランカ 幽蘭ユウラン 起オキリリハハシシ 櫻蘭オウラン 葉ハ鷺草ニ似タリ花モ亦

雌メ葉エフ○着ツけるケル ツツイイテテ **第四十五** 水仙スイセン○中チュウ古コ 十カム 雪ユキ

中花チュウカ○葉エフ四シ枚ヘイ 一科イチカをを爲ヲしてシテ ヒトカブ 塊クワイ

玉タマ玲レイ瓏リョウ○海邊ウミノヘ 土地チノチ暖ヌク ガガヌヌククトトシシ **第四十六** 凡オノ

芭蕉ハクシヤウ○鴈ハクゲイ來ライ 紅ベニ花ハ開ヒカカズズ其キ葉エフ秋アキ鴈ハクゲイノノ來ライルル頃キョウ 松葉蘭マツエラン

テ 紅ベニヲヲナナスス故コニニ此コノノノ文モン字ジヲヲ充チヨウツツ **第四十六** 凡オノ

トトニニテテ書カククススニニ年ネン **第四十七** 二ニ角カク 或アル又マタ

トトニニテテ書カククススニニ年ネン **第四十七** 二ニ角カク 或アル又マタ



葉ハ松葉ノ如ク色モ亦似タリ、  
多ク鑑裁トシテ玩弄ニ供ス、  
葉實ミ、萬年青  
種類多ク隆冬ニモ衰色ヲ現

ハサズ故ニ此  
石苜蓿  
種類多シ盆盎中ニ栽  
美人蕉  
芭蕉ニ似テ小  
文字ヲ充ツ  
正清玩ノナスモノナリ  
花ヲ開キ子

ヲ結  
檀特  
高サ三四尺  
驚悉ニ似タリ八月花ヲ開ク其色赤  
錦草  
バブ  
其状穂ノ如シ子口色黒クシテカタシ

葉ノ形ト同クシテ其  
鴈來黃  
其葉ノ黄ナルイ  
異葉ルハ、  
重下  
色黄紅ノ班アリ、

ダイジ  
斑葉  
葉ニ白キ斑  
第百七  
植物  
ウエモハ草  
大綱  
ニスル

オホ  
瑞典  
国ノ名歐羅  
林娜斯  
名ノ  
發明  
シ其一  
綱  
ニ  
中ノヒ  
數目  
カズク  
花蓋  
ハナ  
雌雄  
ヲ部  
類  
ヲ  
綱  
目

オホワケ  
精密  
クムレク  
幼童  
モ粗  
マシ  
其學  
植物學  
ツキ  
コワケ

コワケ  
從事  
ツキ  
タガフ

第百八  
蟲類  
人用を資ク  
ニナル  
蠶小如クハホ

カヒコニオヨブ  
四眠  
俗ニツツ眠  
三ツ  
四起  
一眠  
ゴト  
ニ皮  
ヲ

三至ル  
蛻  
カハ  
ヲ  
族  
或ハ  
菜種  
ガ  
ラ  
等  
ニ  
テ  
ツ

ゴ  
或ハ  
ト  
ツ  
両目  
ノ  
メ  
蚕蛾  
カヒ  
コ  
破リ  
ブル  
子  
を  
産  
ミ

著  
タ  
マ  
ゴ  
ヲ  
ウ  
卵紙  
○  
収  
め  
ト  
リ  
第百九  
蜂類  
○  
蜜  
を

醸  
ニ  
ツ  
ス  
供  
ヘ  
ル  
蜜  
蜂  
多  
ク  
人  
家  
ニ  
養  
黄  
虻  
形  
千  
蠅  
ニ  
似  
テ

人及ビ牛馬ノ血ヲ吸ハ  
ズ、只草木ノ花心ヲ吸フ、  
瘡せ○  
簇リ集リ  
オホクヨ  
一團

ヒトカタ  
熊野  
紀伊ノ  
地名  
最  
ト  
ビ  
次  
者  
品  
類  
ル  
キ



蝨シに第五十蜻蛉トビ○卵タマゴを水中スイノウチ小生コナマとタマゴコヲミツル

蠶サナバト水蠶スイサナバトトサナバト鋸ノコギリ○北背裂キタセてセナカサケテ翅ツバ蝶テフの如ゴトハネテ

ヤ第五十一毛蟲ケムシ○化カしてシヤウラ蛹マユ○樹葉ジュエフハ粘ネバ

ツキネバリ山椒サンセウ蟲ムシ形カクシチイモムシニ似テ稍小シ揚羽アサギ蝶テフ○網アミの紋モンモヤウ

丸ハネニマル○黒蛭クワシ蝶テフ第五十二腹ハラ○蟾セン蜩テフ俗ヒキカヘルトイフ或ハフクガヘルト

モイフ蛙カエル類シト較シ異ヘテリテ性セイ甚シ鈍ドブ久キウ行コウ走ソウ遅チ縵マンカモヤウ臭シウ氣キニホヒ蝦蟆○聒カクくヤカマ蚪ト

カヘルノコ俗ニヲ玉砂子トイフ漸シ々シ尾ビを脱ダクケルヲガヌ生シヤウ蛇ヘビ

ルデキ雨アメ蛤カキ天雨テンウントスル時トキハ山蛤サンカキ草木陰鬱クサキノキノカゲノ間マニ棲シム其肉ニク美ミ

十四

スト珠マユキ較シス第五十三舌シタ混マシれ易ヤスクオホヒ大小オホヒ

異コトあるタイソウ蝶テフ蛭シ池沼イケノ小流コナガ等トニ多シク其腹ハラ赤アカ守宮モリノミヤ

等ノ間ト石龍子シヨウシ堤防ツツ石壘イシノ等ノ間マニ棲シムモノニシテ背セニ碧條キナンドア

ヲアカトカ淡黒く○屋ウチヘ壁間ヘキカンススキマ蛇ヘビ○鱗ウロコ褐カフ色イロ○

棲シニ第五十四蟻アリ君臣キミノノ義ギヲ知チル故ユニ文字モノ義ミニ從ツ春暖ハルカクの

時トキハルノアタ土上ツツチノ食シを貯タマフヘクヒモノヲ蟻アリ以モテ黒

蟻アリ白シロ蟻アリ○朽木クチキリクサ四羽ヨツノ第五十五藥材ヤクザイノ害ガイ

ナルドク惡アクむべスク臭ニホヒ厭キラフ蜘蛛ニニシテ糸イトヲ出デシ



二面ノ編ヲ張リ虫之ニ蜈蚣カテ身扁クシテ長シ節々冠アリ柳木或ハ  
觸ルレバ即チ誅ス、蜈蚣カテ土中ニ穴居シ人ヲ螫ス毒虫ナリ、

蜘蛛ク蟻屋爛草中ニ多シ形小キヤヤス馬陸カ形小キ蜈蚣ノ如シ  
蜈蚣ノ如クシテ足頗ル長シ

テ環ヲテス多ク家屋ノ蚕小首六足ニシテ能ク跳ズ夏月人家ノ湿  
陰湿ノ處ニ化生ス、蚊氣深キ處ヨリ生ス其色赤クシテ身肥多

リ、蚊子羽ノ羽化セルモノナリ夏蚊蚊ニ似テ小シ人ヲ螫ス毒ア  
月ヨリ出テ能ク久ノ血ヲ嘔ス、蚊蚊ニ似テ小シ人ヲ螫ス毒ア

人身ノ氣化ニ因最憎むニクガル但其愛ハソノウチカ  
テ生ズル虫ナリ

草雲雀秋月叢ノ間ニ生ズ色黒ク鬚アリ其声細螢頭赤ク  
長ニシテ飛ブコト高シ西京ニ多シトイフ

四翼アリ六夜光ル虫松虫形千蟋蟀ニ似テ褐色ナリ夜羽ヲ振  
ナリ夏ノ初多ク出ス

ヘタ鈴虫形千西瓜ノ核ノ如シ羽黒クシテ細蟋蟀其鳴ク聲  
文アリ其鳴ク聲鈴ヲ振ルガ如シ

ト云フガ如ク清亮ニ響虫羽青ク腹黄ニシテ前脚長シ秋夜ニ鳴  
シテ松虫ニ亞ク、響虫久其聲響ノ音ニ似タリ因テ名ク、

第五十六 我國日本四方東西南北海ノ環ルウミニテ河海

の産物カハウミニニテ資るトリテ品類ガ記スる小違

あちびオホクテ淡水シホケノナキミニ日常ツネフ粗サツ

識ラ入事要及レルコト詳カハシ動物學天地間ニ生アル

物ヲ知リ從事ツキレタ晰らむハメル第五十七鯉コヒ産ル

利根川淀河〇其名高鯉ノヒヤウバ湖中

ミヅウミニナカ鮒源五郎鮒淺草川〇紫鯉〇古来シヨ



リ世小名ありセケンニヒヤウ白魚多く関東ニ産ス頭尖リテ鱗アリ其色淡紅黒ニ

シテ大サ七八寸其肉白シ、マタニナリ岐骨シゴボネ、食ふ不堪タベラへタベラ緋鯉ヒゴイ

畜カヒテハサミトスル班チブ第五十八ウナギ鰻鱺ウナギ○長流ナガキ

○三十モト遠サミトスル在るルヲ因ヨリて至レ江戸前江戸デキト赤鰻アカウナギ

筋鰻スナギ○八ヤ目鰻メ北国ニ産スル河魚ナリ俗ニハツ目ト称ス

二羽ニ羽前ウ諏訪スの湖ハ信濃ニ白点ハク第五十九ウナギ源五郎ゲンゴ

鮎アサギ鱗シ淡黒色ニシテ少ク黄ヲ帯ヒ其腹モ紅葉モミ鮎アサギ秋月紅葉ノ頃

其鱗シ紅葉ノ色ヲナス鮎アサギ形チ長クシテ味美ナリ諸州シヨウ小著アラス

按スルニ源五郎鮎ト称スル所以昔源五郎ト云フ者不家食ト云々卷ノ偶湖道ニ

出テ釣コト垂ルコト第六十ウナギ鱒マス○東北國トウホク陸羽越後北海サハ鮭サケ六ナル者

鱒マス細ク赤條アカス○眼中マナコ貫ぬツキト醃ウケ○塩引シホ第六十一ウナギ鮎アサギ○玉島川タマシマ○神功皇后シノクミ仲哀天ナカアヘ此魚コノイサを

釣リツ鮎アサギ軍イクの成敗イキ韓征伐ノ成敗コリアヲイフ占ウラひヒ○游ユリリ○子コ多タ年ネン魚ギョ一年カギリニテ死スルコト第六十二ウナギ鮎アサギ本ナルホノ早サウ春シュン

小溝コミヅチイサキミ生育ウマレニ寸許ニ洲走スリリ○鮎アサギ魚イサ成長セイクナルクナル鮎アサギ○年トシを經ヘ一ヒトフルフル赤目鳥アカメ一名志久チク

形色皆カサ似ニ鮎アサギ○鱒マス一ニ唐墨ト書スカ腹ハ連ツネテ之ヲ乾カスステ其目メ赤ニ似ニ鮎アサギ○鱒マス其形カサ子墨シニ似ニタリ依ヨテ名ナ久ク其味ミ

出テ釣垂ル得タルコトコトヲ得名故ニ此名アリト云々又佐木ノ家臣三錦織源五郎上云者ア上例トテ湖水網ヲ免サレタリ故ニ此名アリト諸説

小學讀本字彙 卷之三 三浦藩



甘美ナリ、多ク勞 第六十三海産 鯛 ○慶賀

州土州ニ産ス 盛饗 カホリ必 須ツ 此故

形味 カタチア 甘鯛 二方頭魚ト書ス

絲より鯛 一ニ金線魚ト書ス

黒鯛 形千鯛ニ似テ其色黒シ故ニ

六十四 鰈 平目ト同ジク

目 四時アレドモ春夏ノ半片ヘラ

石鰈 右片鱗ノ両端ニ黒

こ 大ナル者五六寸形チ

鮮 ○腊 堅魚節 ○賞 他魚

鎌倉清水 第六十六 尋常ノ食小供

字を制 簡便 主 其審あるを

得ざるよ出づ 字義ノモカナル

鱗厚肉味 鯛 身口久頭大ニシ

上品ナリ 鯛 元歳ノ口潤ク

赤シ冬月漁ス海賊 金頭 形味共ニ

少久上饌ニ供スシ 鯛 形似テ小

リ大口ヲ開キテ小魚ヲ吞ム

又琵琶魚ト書ス東海ニ多シ



外煮テ油ヲ取ル之ヲ魚油ト 鯖サバ 全身青色ニシテ蒼黒ノ斑文アリ太キ  
イテ其津肥料ニ用ユ 鯖サバ 者ハ尺餘若狹ノ名産ナリ多ク塩

藏シテ山家ヤマカ 無鱗魚ナリ其大ナルモノ周囲七八尺口ハ腹ノ下ニア  
ニ輸出ス 魚イサ リ目ハ額上ニアリ尾ニ骨状鋭刺アリ以テ防禦ノ具

ト 鱧ニギハヤク 頭ニ碁石ノ如キ小石ニ片アリ一種大 古字コジ ヲムカシ 假借カシヤク  
ス 鱧ニギハヤク ナル者ヲニベトイヌ長サ六七尺アリ

シ 混トリマ 屯ギレル 第六十七章魚イサ ○飯蛸イサ 大廿五六寸ニ過ギズ  
其頭鳥ノ卵ノ如クシ

テ中ニ白肉粒テナガ 手長蛸テナガ 身小久手長 蜘蛛蛸クモ 身最モ小クシテ其  
々蒸餹ノ如シ 手長蛸テナガ キモノナリ 蜘蛛蛸クモ 状キ蜘蛛ニ似タリ

疥癩シヤカハ 滑川庄内シヤカハ 餘オホ 烏賊カ 状キ筆囊ノ如シ肉白ク  
シテ八足アリ背ノ上ニ

一骨アリイカノカウト名久頸 障泥アサリ いり 烏賊ヨリ大ニシテ周辺ニ  
ニ爲ニ 穢ニ ノ如キモノアリ 肉縁アリ形キ障泥ニ似タ

リ故ニ 尺八シヤクハチ いり 身狭長ニシテ形キ尺 鰯イサ いり 身長大ナリ乾  
名ク 尺八シヤクハチ ハノ如シ故ニ名ク 鰯イサ シテ鰯ニ作ル

肥州五島ノ産 最トス ひいり 大廿僅カニ寸餘リ頭 飯蛸イサ の章魚イサ

子於オケ ろロ 如コト 一いりモ鳥賊ノ小キモ 第六十八蟹カニ 蝦エビ ○鹹シ

水ミヅ 蛸ササミ 俗ニ或ハ鳥 海蟹ウミカニ ○其甲カニ カノ 横ヨコ 子コ 潤ニホ

く ヨコヒライッ 一刺ヒトツ 蠟ロウ 甲潤クシ てんテ 不フ ぐグ 子コ

ナリ紀州 甲蟹カニ 九州海中ニ産ス其形 蟬セミ 多ク池川等 第六十九

介類カイ ○螺類カタ 蠣類カタ ○石決明イシ 海中ニ産ス其味 美ミ 子コ 一ヒ て

ウルハシク 採ト リ集アツ むム セル 第七十貝カキ ○こコ やヤ ぎギ ぐグ ひ

世ニ傳ト ス婦人メノ 胎産イハ ノトキ此ノ貝ヲ 掌テ ニ握ニ 左右サ 小コ 齒ハ ニハアリ

レバ安産ヤス ストイフ故ニ子安貝ト名ヅク

世ニ傳ト ス婦人メノ 胎産イハ ノトキ此ノ貝ヲ 掌テ ニ握ニ 左右サ 小コ 齒ハ ニハアリ



貨通用 蚌 ○溝がらひ ○殼カハノ蛤 ○文モヤリ鳥がらひ。

耳白 ○蛤蚧 海中ニ産ス殼色灰アガヒ赤貝 色黒ク内白シ肉ハ赤

生ス 蚌 一二樹類ト書ス形チ赤貝ノ小 兩片ヘラウ 此類ハマダ

第七十一 螺類 ノルキ 左ノ旋ニマク 辛螺 テ長シ殼

ノ内外紅色ナリ頭尻光レリ肉 田螺 水田溝川ノ中ニ産ス殼ノ形チ

蓋ふスル層 ○蠅螭 形チ短キモノナリ 磯がき 頭辺ニ皆沙石

クレテ亀 灰 ○石灰 ○代ヘカハリ 貼く ○鰻ビス 第七十二

頂 丹頂 ○白鶴 頰脚赤ク羽黒 陽鳥 頰白ク頰赤シ脚

皆 鷓鴣 頰赤ク全体灰白翹端尾端共ニ黒クニ本ハ皆 頸肩額

頰 ○鷓鴣 俗ニ或ハ霜 全身 其聲 敲く 第七十三

潔白 シロシ 長毛 數莖 頂上 尋常

鷺 一盃さぎ ○嘴扁く ○篋 竹ヲ削リタルモノ多

背カ青鷺 ○翅の裏 朱鷺 ○一類 鴉色

○此色より起れる 第七十四 村里

市中 里鳥 ○反哺の孝 幼キトキ親ニ食物ヲ哺メテモ

行ヲイフ、 鴉 ○嘴肥大 貪る 甚



深山トミヤマからけハネノのハネノ鶴トビのハネノ翼ハネノのハネノ羽ハネノのハネノ嘴ハネノのハネノ鵲トビのハネノ似ハネノ

小く尾長く嘴尖り背緑ニシテ腹白シキウシ九州豊前豊後筑前筑後肥前肥後日向大隅薩摩ライフ

第七十五 燕ツバメのハネノ春分ハルノのハネノ此地我ノ国ヲサのハネノ巢スをハネノ結ムスびハネノコシ

子コをハネノ育イクのハネノ暖地アタカのハネノ胸ムネのハネノ斑ハネノ文ハネノのハネノマダラナル

鴈ガンのハネノ北地ホクチのハネノ真鴈マガンのハネノ鴻トビ白ハク鴈カンのハネノ全體ゼンタイのハネノ青脚アヲキ

蒼黒アヲクロくハネノのハネノ額ヒタのハネノ背セ頸ネのハネノ淺黒ウス褐色チヤイロのハネノ羽ハのハネノ

邊ヘ毎ヘ子ゴトハハネノハハネノ第七十六 土ト鳩トビのハネノ珠ジュ數ズ掛カ鳩トビのハネノ羽ウ色シヨク

數品スウヒンくハネノ頸項クビウのハネノ白班ハクシロのハネノ青アヲ鳩トビのハネノ黒コク緑リョクのハネノ

棲シのハネノ雉トビ鳩トビのハネノ孔雀クヅク鳩トビのハネノ尾ビをハネノ立ツルツルハネノ孔雀クヅクのハネノ金キン鳩トビのハネノ似ニタルハネノヲハネノ以ハネノテハネノ名ナクハネノ

長チヤウ生セイ鳩トビのハネノ形ケイ状ジヤウのハネノ第七十七 四シ十ジュウ八ハチ鷹トビのハネノ其ソノ多タ類ルイ

至シ大ダイのハネノ鷲ジュのハネノ諸シヨ国クニノハネノ深シム山ヤマ又マタ海ウミ辺ヘニハネノ棲シムハネノ其ソノ力チカラ

狐コ兔トをハネノ攫ツカムハネノのハネノ嬰エイ兒ジのハネノ抓ツカ去サスハネノのハネノ鴉モのハネノ

其ソノ性セイ鷹トビニハネノ類ルイスハネノ頂テイ毛モ褐カフ色シキ腹ハラ毛モ青アヲ猶ナホモハネノ搏ツつハネノケケリリココ仁ニ徳トクのハネノ

四シ十ジュウ三サン年ネンのハネノ御ミコ即位キツヨリハネノのハネノ百ヒャク濟ジのハネノ朝チヤウ鮮センニハネノ酒シウ君クニノハネノ

馴ナ得トクてハネノ鷹トビヲハネノツツカセセテハネノのハネノ天テン皇ウノハネノ獻ケンスハネノのハネノ此コノレレをハネノ鷹トビヲハネノサ

百ヒャク舌シヤク野ノ和ワ泉センニハネノ放ハナちチ雉トビのハネノ愈ユ々々其ソノ養ヤウ法ホウ鷹トビノハネノ精セイノハネノ

小學讀本字解 卷之三 三十一 海濱



鳥類考 見鷓鴣雀鷓鴣 ○隼 形千鷹ニ似テ色蒼黒ク胸腹灰白ニシテ赤ヲ帯ブ其背

二班紋 さいバ隼ノ小十九モ其大サ鳩ノ如シ色三青 赤ノ二種アリ共ニ能ク小鳥ヲ搏ツ 第七十八 聲

を賞一吟詠詩歌ニ うぐひに 立春ノ候ヨリ聲ヲ聞テ轉ル人之ヲ愛シテ

龍ニ 春鳥見鳥字 ○假借ル我邦 日本ヲ好音 告天

子 ○春蘭 けてハルノスエヲイフタケハタケ 雲端

雀 ○此二鳥 野外ニ佳 ○養ふ 上等

第七十九 時鳥 初夏ノ頃飛鳴ス其聲不知歸ト云フガ如シ此鳥卵

水雞 大サ鳩ノ如クニシテ尾短ク嘴脚長シ水辺ニアマレ 稀ある

スクナキニテソノ開寂ナル一 地ニ由テ 聒テ 敵

く 赤水雞 頭背ハ黄赤ニシ 大水雞 大サ小キ雞ノ如シ頬白ク 嘴長クシテ尾短シ背百班

第八十 初雁 雁ノハシメテ 鶉 原野ニ棲ム其声ヲ愛シ

鳥 常ニ江海ノ辺ニアリ冬月最多 鳥 秋来リ春去ルコト雁ノ如ク 二同シ種類多シ 鴛鴦

来去トモ見ニ同シ頭ニ白キ長毛アリテ尾ニ至ル尾ニ亦羽アリ舟楫ノ如シ之ヲ思ヒバネト称ス此鳥雌雄ノ情至テ深シ常ニ相離レズ水上ニ游

泳スル 趣ス ふふ 鶉 羽毛ニマダラ 斑文 澳子鳥 岩

千鳥川千鳥 ○秋沙 鳥ニ似テ頭背灰色ニシテ腹白シ 味

鳥 頭ハ青緑ニ黄赤ヲ帯ビ嘴 輕鳥 全体黒色ニシテ 脚掌共ニ赤シ

第八十一

鳥類考 卷之三

鳥類考 卷之三



愛翫 タノシミモ 此國 日本ヲ 孔雀 元来瓜哇産ナレドモ久シク

四尺ニシテ、細頸隆背、頭ニ三毛ヲ戴ク其長サ、鵝 大サ鳥鵝ノ如

ナリ其性能ク、鸚哥 熱帯地方ノ産ニシテ大小 九官 原ト支那

一二佐苗加ト称ス能 カナリヤ 金絲雀 羽色黄白或ハ班ノ種類アリ原是

名 十姉妹 本船来ノ鳥ニシテ其形小シ 文鳥 形チ拙老婆ニ

ノ二種アリ、飛ヘバ則チ鳴キ、歩セハ則チ 萬雀 雀ニ似テ色青黄常

ヨリ多ク群飛シ来ル鳴 野禽 ノニス 毛羽 奇 珍 埒 シ 声ホシロニ似タリ

ト 第八十二 熊 ○ 全身黒色 カラダダウ 喉 ○ 白紋 シロキ

新月 ツギ 月 ツキ の 輪 ○ 羆 ○ 強ク ○ 往々 イナドナ 大凡

く ○ 皮毛 ケカ 純黒 ジュンク 方 マツ 第八十三 支那 ナ 俗 ニカ

人家 ニ畜 フテ 食餌 ニ供 六畜 ムツノカ 重 オカ を 負 オカ ひ

ヒ 遠 トホキ 不 トホキ 涉 トホキ 人 ニ 間 ケン 欠 カ く べり カ ら ざ カ る

ニ ナク ニ ナ ナ ナ ナ 彪 ヒウ 犬 イヌ ナリ 狢 ヒウ 犬 イヌ 見 ミ ニ 似 ニ タリ 猫 ネコ ト 同 ト

フネ フネ ニ ニ ノ ノ 播 ヒロ ○ 未 ミ 綿 ワタ 羊 ヒツ ○ 頗 オホ 差 サ 多 タ 野 ノ 猪 イノ



○田稼田家ノ作物ヲイフ損トアラス害サレ第八十四豺狗瘦爪

○麻骨或ハアサガラトモイフ窪ヘコ狼オホカミ○啄脚蹠ウツクシ○淡ウス赤アカ褐カキ

色イロ○并ナヒ豺狼シヤウラウ他獸ホカノケモノ狼肉ラウニク○豺肉シヤウニク○豺肉シヤウニク

第八十五狐狐キツネ人家ニ近キ山林ニ穴居キヤイロ黄赤色キヤイロ尾ビ拆サキ尾ビノサキ人サケタ

舐蹠シツ狸リ○頭カビ虎狸ヒョウリ○猫狸ネコリ○貉カク○尖トギリトギ鼻ハナ出イデ

て目青メアヲ○猫ネコ体肥エテ行マシ遲ヒソカ身ハ聳タテナリ人ヲヒ春ハルセテセ黒クロ

條スジ第八十六銜銜ケン久キウヘヘ連行レンギョウツレツレダチダチ鱒マス鱒マス○鮪ササギ俗ソコニニ平ヘイ

トイフ大小數種アリ山地ノ土中ニ棲ムツカ廿日鼠川鼠ニツカ○河邊カヘ

カハカハ鼯鼠ウツクシ○短上啄ミナカウツクシ○常ツネ子コ土中ドチウ子棲コネむムハハイイセセイイツツクク

偶ト動ウツク事能コトアタむム比ヒガガテテキキスス第八十七黄貂山ヤマ地チ堂ドウ舎シャ

ムム此物コトモノヲヲササスス年経ネンキたるタルルル一ヒト種シュノノ獸ベシニニシシ此國コノクニ日本ニッポン

フフ朝鮮チヨウセン支那ノ東部ニアシナノトウブニ栗鼠リス一名木キ山樹サンジュ樹木ジュモク果實クワシツクダ

胡桃クワナツ栗リ第十ジュウ第八十八海獸海獸カイジュウウウミミ海鹿カイカ諸國ノ海ニ産スシヨクニクノウミニトト虽モト凡ソドモ

十ジュウ海豹カイヒョウ北海ニ棲ム大サ四五尺其毛冬月トキ海驢カイロ二胡ニク狼ラウトト書シスス

テモテヲヲ生ナズズ其色ソノイロ狐キツネニニ似ニタリタリ頭猫カビニニ類ルシシテテ白シロ尖トギ

リリ其尾ソノビ岐マアリアリテテ金魚キンギョノノ尾ビノノ如ニ久キウ色イロ黒クロシシ獵虎リョクト大サ野猪ノノノ如ニ

似ニタリタリ脚アシ矮チガハシククシシテテ奔走ボンソウノノ疾ハヤキキコトコト飛トビブブ膺ウラ膺ウラ獸ベシ北海ニ棲ムニッポン各オノオノ



形カチソレクカチ海中ニ産スル大獸ニシテ數種アリカチ江豚カチ形チ最モ魚ニ

捕ルトキハ悲鳴ス是レカチ古來カチヨリ魚類カチタルガヒカチ屬ルカチ第八

十九カチ猴カチ○畜カチハ馴カチ水カチケ人語カチを解カチ一カチてカチヒトノコトハヲ

種々の技藝カチを以カチテカチイロクノ人カチゲイカチコトカチハカノ

動物カチゴクモノカチ身中カチ肺カチヲ主ル臟府カチナリ呼吸カチ吐カチイキテ

第一等カチ二掌類カチ両手アルモノトイフ四掌類カチ四ツノ手

猴カチコレ四足類カチ四ツ足トイフコカチ猿カチ印度南海諸島ノ産ニシテ手

溫柔ニシテ慈心アリカチ猩猩カチ蘇門答刺及ビ波羅ニ産ス大サ

形チ猩々ニ似テ身黒久唇長シ窠カチヘバカチ其性カチの靈カチサルノウマレツ

第九十カチ即カチトリモノカチ他カチ子異カチれりカチホカノ動物カチトリカチ萬

物の靈カチヨロツノモクカチ黄人カチアジヤ人種ニシテ皮膚黄色或ハ褐色ニ

等之ニカチ白人カチエウロツパ人種ニシテ皮膚銅色頭カチ黒人カチアフリカ人種

漆黒ナリ頭髮皆縮カチ亞非利カチ棕色人カチマレイ人種ニシテ皮膚黄褐色頭

之ニカチ部分カチ復カチクカチ猴智慧カチ○嘲カチリカチワルクカチ禽獸行カチウノシワ

罵カチるカチ若カチ万カチ一カチ



讀本字解卷之三 畢

明治十五年十二月廿五日版權免許  
同十六年一月出版發兌

定價三十錢

編者

岐阜縣平民

長瀨寬二

同縣下美濃國  
各務郡前渡村

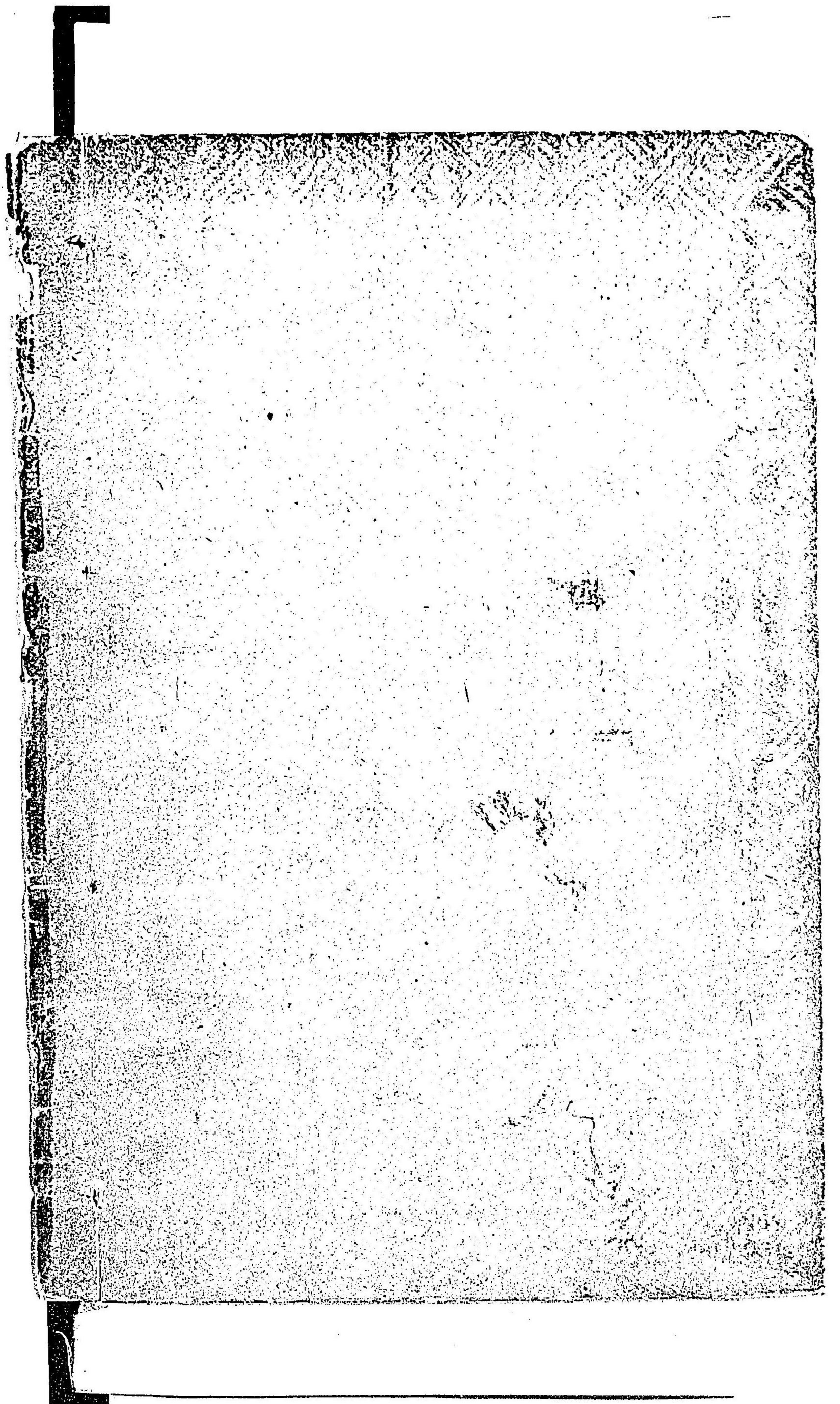
出版人

岐阜縣平民

三浦源助

同縣美濃國厚見郡  
岐阜米屋町







特33  
800

081704-001-7

特33-800

小学読本字解

長瀬 寛二/編

上

M16

DAC-6557

